

成安造形大学 令和7年(2025年) 学修案内もくじ

○成安造形大学 基本理念・SPP.....	2
○学修システム（履修要項）・カリキュラム.....	3
○専門科目	
・総合領域.....	15
・イラストレーション領域.....	18
・美術領域.....	24
・情報デザイン領域.....	29
・空間デザイン領域.....	35
・地域実践領域.....	40
○共通教育センター（学部共通）科目.....	43
○学芸員課程科目.....	48
○教職課程科目.....	50
○二級建築士受験資格講座科目.....	55
○実務家教員担当科目について.....	56

成安造形大学 基本理念（教育理念）

芸術による社会への貢献

私たち成安造形大学は、芸術分野における真摯な教育と研究を通して広く社会に貢献する。独自の実践的学士課程教育によって、発想力・提案力・技術力に優れた清廉な人材を輩出する。そして、誇るべき永い伝統を全員が胸に抱き、新しき名門を目指す。

私たちは今、自らの文化や精神性を改めて深く認識し、それらをしっかりと引き継ぐことを真剣に考えねばならない時代にある。芸術の果たす役割もますます大きくなっていくに違いない。その中で私たちは、芸術大学の今日的意義を模索し、あるべき姿を追い求める。そして、新たな芸術観の確立に向けて研鑽を重ね、公正なまなざしで自らの社会性を高め、創造性豊かな提案を続けていく。

私たちは、学びのクオリティーにこだわる。総合性と専門性を両立しうる高度なカリキュラムを準備するとともに、和気藹々と心地よく学べるゆきとどいた教育環境を整える。学生一人ひとりの個性としっかり向き合い、持てる力を大きく引き出す少人数教育を行う。

私たちは、造形にもとづく叡知を開く。ものをかたちづくるその過程において、多くを学び、心が生き生きする出会いの瞬間を見いだす。自然や素材と交わる経験を通して、学生たちが感性を大きく伸ばせる実践教育を行う。

私たちは、決して揺るがない。自らの芸術を実現し、高く成し遂げるための信念において揺るがない。なぜなら、本学には校訓「誠と熱」が脈々と息づいているからである。私たちは、私たちの起源であるその盤石の精神を継承し、さらに発展させ、学生たちに伝えていく。

私たちは、この場所から始めていく。この場所から生み出していく。学生たちとともに、多くの人々との交流と連携を進め、芸術の力で地域を活性化させる。そして私たちは、美しい湖国唯一の芸術大学であるという自負を携え、その熱き鼓動を世界に向けて響かせる。

成安パーソナルプログラム（SPP）

学生のみなさんが「なりたい自分」や「進みたい道」を実現するために、成安造形大学では、学生一人ひとりを個別で支援していく、成安パーソナルプログラム（SPP）を実施しています。入学から卒業まで、学習面、進路指導面、双方にわたって全力でサポートすることを約束します。

1. 「個別」にこだわる。

少人数教育で学生一人ひとりとしっかり向き合い、適性や希望に合わせて、ていねいな指導を行います。

2. 「導入」で伸ばす。

1年次を中心に充実した導入教育を用意し、授業を通して社会人に必要な基礎力が着実に身につくように工夫しています。

3. 「専門」を鍛える。

専門分野を自由に選んで学べるカリキュラムと、思う存分制作に打ち込める環境で、自分の“専門性”をとことん追求できます。

4. 「進路」と向き合う。

1年次からキャリアサポートを実施し、将来の目標に向かって、必要な力を積み重ねながら着実に進むことができます。

授業の開講について

- (1) 学期
本学では、1つの学年を前期と後期に分け、学期ごとに単位を修得し、8学期（4年間）を積み重ねて卒業要件を満たす、セメスター制をとっています。
- (2) 授業の開講形式
各授業科目は、次の3つのうち、いずれかの開講形式をとっています。
 - ・半期開講：前期または後期の半年間で授業が完結される。
 - ・集中（不定期）開講：前期又は後期に集中的(不定期)に授業が計画される。

授業科目・単位制について

- (1) 授業科目
本学の授業科目は学則上、必修科目・選択科目・自由科目に分類されています。また、履修方法から【必修科目】【指定科目（必修に準ずる科目）】【選択科目】に構成され、学習目標の確実な積み上げを保証するために、学年ごとに科目を指定しています。それ以外に【自由科目】【資格課程必修科目】があり、教育課程以外として取り扱われる資格課程科目等で、単位修得があっても卒業要件単位に充当されません。
- (2) 単位制度について
大学における学修は、単位制で行われています。
 - ①単位制
単位制とは、修業年限（最低4年間）中に、卒業に必要な単位数を修得する制度です。
 - ②単位 授業時間
すべての授業科目に、単位数を設定しています。単位とは、科目を修得するために必要な学修量（時間）を数値で表したもので、本学では、1単位の授業科目を45時間の学修（授業時間＋自習時間）を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間に必要な学修等を考慮して次の基準により計算します。
本学では、1時限を2時間として計算しています。

授業種別	学 修 量
講義演習 2単位科目	原則として30時間の授業時間と60時間の自習時間を合わせた学修をもって2単位とする
実技実習 1単位科目	原則として30時間の授業時間と15時間の自習時間を合わせた学修をもって1単位とする
実技実習 2単位科目	原則として60時間の授業時間と30時間の自習時間を合わせた学修をもって2単位とする

- ③単位の認定
登録した科目を履修し終えた者に対して科目担当者が成績を評価し単位を認定します。
 - 1) 単位は、授業科目を履修し、その試験に合格した者に与えられます。
 - 2) 成績評価及び単位認定は、科目担当者が授業中の学修状況や試験で判断されます。
 - 3) 履修した科目の成績は原則として、次学期の登録期間に発表します。
 - 4) 修得した単位を取り消すことはできません。また、再履修もできません。

履修登録

大学における学修の特徴は、多くの授業科目の中から学生一人ひとりが履修科目を選択できることです。

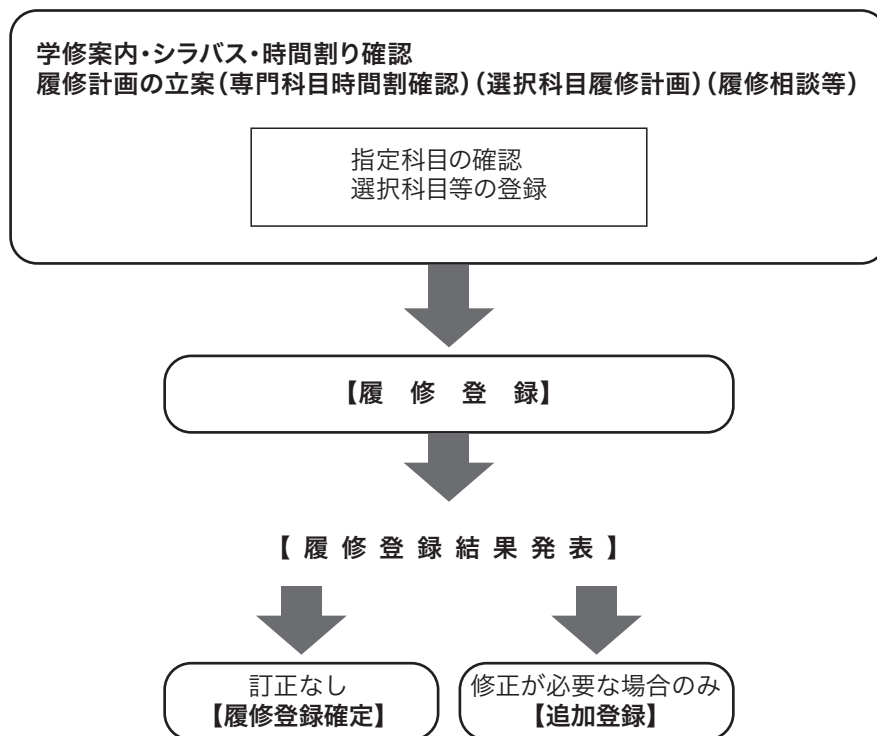
大学での学び方を、自らはっきりと定め、ガイダンス時の配信資料やシラバスを熟読し、時間割表を活用して履修（学修）計画を立てましょう。

(1) 履修登録について

履修登録は、自らの履修（学修）計画に基づき、授業科目について履修（授業を受ける）の意志表示をすることです。履修登録をしていない場合、その科目の受講が許可されません。履修登録ができていないことに気づかずに受講していた場合、受講は無効となり単位も修得できません。

(2) 履修登録の流れ

履修登録する科目は、自ら決定し、登録します。履修登録に関するガイダンスを、前期と後期の学期始めに実施します。履修登録は定められた期間内で行います。



(3) 履修登録の注意点

- ①必ず本人が責任を持つておこなってください。代理手続きは認めません。所定の期日までに履修手続きをおこなわなかった場合は、その学期の履修を放棄したものとみなします。
- ②履修登録は、原則として学期初めにおこないますが、一部、後期履修科目（集中講義など）の登録を年度初めや学期途中におこなう場合もありますので、注意してください。
- ③履修登録した科目以外の履修・単位認定は認められません。
- ④1つの時限に履修登録できる科目は1科目です。同一時限に重複して履修登録した場合は、重複している全ての科目が登録無効となります。（ただし、隔週開講科目を除く）
- ⑤各領域の受講指定科目は、原則として所定年次に配当された科目を履修するものとし、上級年次に配当された科目を履修することはできません。また、科目の特性により前提となる科目の単位修得を履修条件として定められている科目がありますのでシラバス等で確認してください。
- ⑥共通教育センター科目は、履修年次を記して、その年次に履修することを推奨しています。
- ⑦すでに単位を修得した科目は、再度履修登録はできません。
- ⑧履修登録が確定後の科目の変更、追加、取り消しは原則として認められません。
- ⑨1科目の履修希望者が受講可能人数をこえた場合、受講者数を制限します。
- ⑩半期で履修登録する総単位数は前期後期とも各20単位が適性と判断していますが、全学年24単位を上限として登録を認めています。科目の開講形態により、上限単位を超えて登録できる科目もあります。
なお、「単位互換事業による他大学開講の科目」「博物館に関する科目」「教職に関する科目」「二級建築士受験資格講座科目」はこの単位数に含みません。

- ⑪学芸員課程、教職課程、二級建築士受験資格講座科目を履修登録する場合は、事前に履修の届けと納金の手続きを済ませなければなりません。詳しくは各課程のガイダンスを参考にしてください。
- ⑫履修登録後、所定の日時に登録した科目の確認する期間を設定しています。各自確認をし、修正が必要な場合は所定の期日までに教学課に申し出てください。この確認と申告を怠ったために生じる事態は、すべて学生各自の責任となります。
- ⑬2年生以上の学生で、所属しているコースや領域以外の専門科目を選択科目として履修を希望する場合は、願い出を各学期の指定された履修登録期間に申し出る必要があります。
- ⑭2年次編入生・3年次編入生は、他大学(短期大学などを含む)で修得した単位(既修得単位)のうち62単位を上限に本学で修得した単位として認定します。別に定める【既修得単位の認定に関する事項】に従って申請をしてください。
- ⑮次に該当する場合、他大学(短期大学などを含む)で修得した単位を本学で修得した単位として認定する場合があります。この場合の認定単位数は、大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学・地域コンソーシアムの単位互換事業における他大学開講授業、および本学の交換留学生制度により留学する外国の大学において修得した単位とあわせて60単位を超えない範囲となります。
- a) 他大学(短期大学などを含む)を卒業し、1年次から本学に入学した場合
- b) 他大学(短期大学などを含む)を中途退学し、1年次から本学に入学した場合
- 入学年度の4月中に教学課に問い合わせのうえ別に定める【既修得単位の認定に関する事項】に従って申請をしてください。
- ⑯次に該当する学生は、履修登録に際して必ず領域(コース)教員に履修相談を受けてください。
- a) 前年度に領域が受講指定する科目の単位を修得できなかったため再履修する場合
- b) 過去に修得できなかった領域が受講指定する科目を指定コース外で履修する場合
- ⑰その他、履修に関する相談は、教学課に問い合わせてください。
- *履修登録した学生は、成績評価対象者となります。登録確定した科目については、確実に学修していきましょう。**
- (4) 履修の取消について
- 受講した科目の内容やレベルが登録時の予想と違う、健康上の理由で出席できないなどやむを得ない理由で履修中止を希望する場合は、理由を添えて、履修取消申請を行います。
- ①履修の取消は、所定の期間に手続きをしなければいけません。
- 前期・・・4月下旬 後期・・・10月上旬
- ②履修を取り消した科目をその学期中に再登録することはできません。ただし、次学期以降に改めて履修登録することは可能です。
- ③次の科目は原則履修取消ができません。
- ・各学年で受講を指定された科目(専門科目を含む)
 - ・単位互換事業科目(大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学・地域コンソーシアム)
 - ・資格課程必修科目
 - ・インターンシップ科目
- *履修取消科目数が多い学生は、次学期登録時に履修相談をして適正な履修計画について指導を受けてください。**
- (5) 履修登録ガイダンス・個別履修相談会
- 本学では各学期初めに履修登録に関するガイダンスを実施し、これまでの学修状況をふりかえり、これからの履修計画を検討する機会を設けています。学年ごとに説明を行う全体ガイダンスと個別で授業内容や履修登録、学修について質問できる履修登録相談時間を設定しています。
- また履修登録ガイダンスの一環として、個別履修相談会を行っています。個別履修相談会では、これまでの成績評価において未修得科目がある学生やGPAが低い学生、教員が個別に指導が必要と判断した学生に対して、上記全体ガイダンスとは別に個別に時間を設定し、教員と面談をおこないこれからの履修指導を行う機会を設定しています。対象学生は必ずこの相談会に出席し今後の履修指導を受けていただきます。

授業

(1) 授業時間

本学の授業時間は、年間を通じて下記の通りです。

1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限	6時限
9:00～10:40	10:50～12:30	12:30～13:10	13:10～14:50	15:05～16:45	16:55～18:35	18:50～20:30

* キャンパスプラザ京都で授業がある科目については、プラザ科目時間となります。

(2) 授業教室について

各学期に配信する全体時間割で確認をしてください。

(3) 出席

授業は、教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問を教え学ぶ場であり、学生生活の基本になるものです。したがって、授業への出席は重要であり、自主的な学問への探究心なくしてその成果を期待することはできません。原則として出席がその授業回数の2/3に達しない場合は、その科目についての単位認定は受けられません。

① 本学には、「公欠」等の取り扱いはありません。欠席の場合は、欠席届（教学課窓口を設置）を担当教員へ提出します。また、欠席分の講義内容・課題は各自で担当者に確認をして補ってください。その科目を受講する意思を確認するものと判断されます。

* 成安手帖の教員面談日・連絡先一覧を参照

② 欠席が続いた場合、長期にわたって欠席する場合は、授業担当教員および教学課と緊密な連絡をとり、その科目の履修と単位の修得に関して十分に相談してください。

(4) 休講・補講について

休講（休校）

本学の休講（休校）については以下の①～③いずれかに該当する場合、その状況に応じた措置をとります。

① 授業担当教員や大学の都合により授業を休講とする場合があります。その場合にはSeian Active Portal（成安Aポータル）授業連絡や休講掲示で連絡します。また事情により所定授業開始時間から30分を経ても担当教員が出講しない場合は「自然休講」となります。（教学課で確認が必要）

② 気象庁が発表する気象警報において、「滋賀県大津市南部」、「滋賀県大津市北部」のいずれかの地域に、特別警報、暴風警報、または暴風雪警報のいずれかが発令された場合は下記の措置をとります。

午前7時までに特別警報、暴風警報、暴風雪警報が解除された場合	➡	平常授業
午前10時までに特別警報、暴風警報、暴風雪警報が解除された場合	➡	午前中(1・2限目)のみ休講・施設使用禁止 3限目より開講・施設使用可
午前10時の時点で特別警報、暴風警報、暴風雪警報が解除されなかった場合	➡	終日 休校・休講・施設使用禁止
授業中に特別警報、暴風警報、暴風雪警報のいずれかが発令された場合	➡	発令以降、休校・休講・施設使用禁止

③ 下記の事情により、休校・休講・施設使用禁止が適切であると大学が判断した場合。

休校・休講・施設使用禁止等の連絡については、SeianActivePortal（成安Aポータル）・SEIANGmail等で連絡します。

- ・ 自然災害等（台風、雷、洪水、暴風、豪雨、豪雪、高潮、津波、噴火、その他異常な自然現象など）により緊急事態と判断した場合。
- ・ 自然災害やストライキによりJR湖西線、JR京都線、JR琵琶湖線のいずれかが運行休止（または長時間の運転見合わせ）になり、かつバス等の代替手段がない場合。
- ・ その他の事情により、休校・休講・施設使用禁止が適切であると学長が判断した場合。

これらに関する情報は、Seian Active Portal（成安Aポータル）・SEIANGmail等でお知らせいたします。

※これらの緊急事態や河川の氾濫、道路の冠水や浸水、または鉄道への影響により大学から自宅への帰宅が困難な場合や「生命・身体に危険が生じる恐れがある」と判断した場合には、学内の安全な場所に避難するなど大学の指示に従ってください。

非常時には「身を守る行動」を優先してください。市町村などからの避難勧告・避難指示などの情報に留意し、少しでも安全な場所に移動するなど直ちに「身を守る行動」をとってください。

補講

前記の理由等により、休講となった授業については、授業期間内に補講を行います。補講については授業ごとに異なりますので、各自授業連絡等で休講となった科目担当者の指示に従ってください。

(5) 授業連絡

授業に関する連絡は、授業中に連絡事項を伝えるほかにSeian Active Portal（成安Aポータル）の授業連絡等を通じて情報を提供します。

その他、授業担当者の指示に従ってください。

試験・成績について

(1) 試験について

試験は科目担当者が、筆記試験、レポート試験、課題作品提出、合評、口頭試問等により行います。試験の実施については、科目の到達目標により時期が異なります。

保留該当者試験

保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断した者に対して行われます。

①保留該当者発表（前期は8月・後期は2月）

科目担当者が成績保留【W】とした科目については再度課題を提出することで再評価を受けることができます。

対象科目はSeian Active Portal（成安Aポータル）で確認ができます。

②保留該当者試験（前期は8月・後期は2月）

各学期1回行われます。受験する場合は、該当科目について教学課窓口で手続きをして各担当者に再評価の依頼を行います。

手続きを済ませないで課題を直接教員に提出した場合は無効となります。

手続き1) 受験願いの提出 及び受験料納付（1科目2,000円）

手続き2) 課題提出・試験受験

注意事項

- ・本人以外（代理）の課題・レポート提出は一切受けません。また、必ず学生証を提示してください。
- ・提出期間を超えての受付はしません。
- ・事務室窓口で受験手続きを行っていない場合は提出物の受け付けはしません。
- ・郵送・宅配便等による課題・レポートの提出は一切受けません。
- ・手続きを済ませないで課題を直接教員に提出した場合は無効となります。
- ・教員指定のメールアドレスやサーバに課題を直接提出する場合も、事務室（教学課）窓口での手続きが必要になります。窓口への提出物の指定がない場合でも、課題のアップロード画面やメール送信画面が確認できる印刷物の提出が必要になります。

* 保留該当者試験を受験しても学習目標の最低限の理解が得られていないと担当者が判断した場合は不合格【D】となります。

(2) 評価

①成績通知書等に表示する記号は、次のとおりです。

評価	素点	評価基準の目安
S（秀）	100～90	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる特に秀でた成績
A（優）	89～80	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる優れた成績
B（良）	79～70	学習目標の根幹的な部分は理解し修得したものと認められる妥当な成績
C（可）	69～60	学習目標の最低限の理解は得られたものと認められる成績
W （保 留）	成績保留	保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断
D （不 可）	59以下	学習目標の最低限の理解が得られていないと認められる成績
N （認 定）	認 定	*既修得単位 認定 *一括認定 *指定した資格検定合格者への単位認定

(3) GPA制度について

履修指導にいかすためにGPA（Grade Point Average）の制度を導入します。詳細については、9頁で紹介します。

(4) 成績発表

履修科目の成績は、学修状況の記録として単位を修得できなかった科目も含め各学期終了時にSeian Active Portal（成安Aポータル）で発表します。また、学期ごとに保証人にも通知します。

成績評価について確認事項がある場合は、指定の期間内に所定の方法で申し出ることができます。

期間については成績発表時にご案内します。

進級・卒業について

(1) 進級について

① 1 年次から 2 年次への進級

以下の判定基準をすべて満たす必要があります。

- a) 領域受講指定科目（所属する領域が受講指定する専門導入科目及び芸術応用科目）の修得単位数が 8 単位以上であること。
- b) 総修得単位数が 16 単位以上であること。

② 3 年次から 4 年次への進級

以下の判定基準をすべて満たす必要があります。

- c) 領域受講指定科目（所属する領域が受講指定する専門導入科目及び専門基盤科目、所属する領域が受講指定する芸術応用科目）の修得単位数が 44 単位以上であること。
- d) 総修得単位数が 76 単位以上であること。

（在学期間が 2.5 年で、領域受講指定科目（所属する領域が受講指定する専門導入科目及び専門基盤科目、所属する領域が受講指定する芸術応用科目）の修得単位数が 44 単位以上で、総修得単位数が 52 単位以上の場合は進級を可とすることが出来る）

(2) 卒業について

本学に 4 年以上在学し、卒業に必要な単位数を修得しなければなりません。（卒業に必要な単位数については P.13 に記載）

(3) 卒業の時期について

- ① 卒業の時期は、後期末（3 月）または前期末（9 月）です。
- ② 後期末（3 月）：後期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。
卒業判定結果については、2 月下旬に保証人宛に通知します。
- ③ 前期末（9 月）：前期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。
卒業判定結果については、9 月上旬に保証人宛に通知します。

卒業見込み証明書発行基準

4 年次に進級した学生で一定の科目・単位数の修得要件を満たした者に卒業見込証明書を発行します。

① 卒業見込み者とは

卒業見込者とは、在学 3 年次終了時の修得した単位数および 4 年次に卒業要件を満たす履修登録をおこなったことが確認された者とします。

② 判定時期について

本学はセメスター制を採用しているため「卒業見込判定」を 4 年次の前期及び後期におこないます。

前期の判定では、前期の成績および後期の履修登録が確定していないため暫定的な判定となります。（9 月卒業は除く）

判定対象	判定時期	判定対象卒業時期
4 年次前期	5 月初旬（前期履修登録終了時）	9 月卒業・3 月卒業
4 年次後期	10 月初旬（後期履修登録終了時）	3 月卒業

成安造形大学GPAについて

GPAとは、Grade Point Average（成績加重平均値）のことで、各科目の評点（100点満点）をグレードポイントに換算しなおし、その合計を科目の総単位数で割り、1単位のグレードポイントの平均値を算出するものです。

高校まではすべての学生が同じ教科・科目を履修しますから、単純に成績を比較できました。大学では、個々の学生の所属領域（コース）や目標に応じて、履修する科目を選択する自由度が高く、異なる科目を修得した様々な学生を単純に比較することができません。多様な学習環境を持つ大学では「学ぶ量」だけではなく「学ぶ質」を端的に評価できる指標が必要であり、GPAはそれを提供する手段です。専門性や就学目標からくる履修状況の違いを吸収し、公平さを与えながら学業成績評価の指標として使われるものであり、現在多くの大学でこのポイントを活用して大学での学びを確かなものにする動きがあります。

GPAは各学期ごとにSeian Active Portal（成安Aポータル）で確認することができます。

学期ごとのGPAを確認することでその学期の学修状況を確認できます。GPAが高かった場合は、次学期の履修登録単位数を増やすなど学修の幅をひろげ、GPAが低かった場合は、履修登録単位数を減らすなど学修改善の機会としてください。

①履修登録したすべての科目を対象に算出します。単位を修得できなかった不合格科目も成績に加算されます。従って不合格科目が多いとそれだけGPAが低くなります。ただし、履修を取り消した科目、認定科目、単位互換事業科目並びに卒業要件対象外の資格課程必修科目は、算出対象から除きます。

②GPA算出について

素点	評価	グレードポイント
100～90	S（秀）	4
89～80	A（優）	3
79～70	B（良）	2
69～60	C（可）	1
59点以下	D（不可）	0
認定科目		対象外
資格課程必修科目		対象外

$$\text{GPA} = \frac{\text{Sの修得単位数} \times 4.0 + \text{Aの修得単位数} \times 3.0 + \text{Bの修得単位数} \times 2.0 + \text{Cの修得単位数} \times 1.0}{\text{総履修登録単位数（「D」の単位数含む）}}$$

③学修指導について

本学では、各学期のGPA数値が1.5未満の学生に対して、個別に履修指導を行い履修計画の見直しを行います。

また4学期連続してGPAが1.0未満の学生に対して学長が退学勧告を行います。

④その他GPAの利用について

- ・本学の特待生の適正審査の資料
- ・外国人留学生の授業料減免、学修状況確認に関する審査資料
- ・日本学生支援機構の奨学金を継続して受給又は貸与するための適正審査の学力基準
- ・就職や進学で成績順位の掲示を求められる場合は、学年別のGPAによる成績順位を算出します。

シラバスの見方について

シラバスとは…

大学における授業の内容やスケジュール、または成績の評価の方法などが詳しくまとめられた資料のことです。

シラバスはSeian Active Portal（成安Aポータル）の「授業支援」の中の「シラバス」より確認をすることができます。その中には以下のような項目があります。



The screenshot shows the Seian Active Portal interface. At the top, there's a header with 'Active Portal', language settings (日本語, ENG), and a logout button. Below the header, the user is logged in as '成安造形大学'. The main navigation area has several menus. The '授業支援' (Class Support) menu is expanded, and the 'シラバス' (Syllabus) link is highlighted with a red box and a red arrow. Other visible links include 'Web出欠管理', '学生指導', '履修状況', '調査・アンケート', and '個人情報'. Below the navigation area, there are two sections: '掲示版' (Bulletin Board) and '休講・補講' (Absence/Makeup). The '掲示版' section shows a list of announcements with dates and titles. The '休講・補講' section shows a message '掲示はありません' (No announcements).

①授業概要及び目的

この授業を通して何をするのか、何のためにこの科目を受講するのか、またこの授業が対面で行われるのか、遠隔で行われるのかについての説明です。

②到達目標

この授業を受講することでどのようなことができるようになるのかについての説明です。

また、「DP〇ー〇〇：【◎】…」と記載のある到達目標は、「DP到達目標」というもので、この授業を受講することで最低限身に付けるべき資質について記載されています。

※DPとは「ディプロマ・ポリシー」のことで、P.11で説明しています。

③授業計画

14回の授業のうち、それぞれの授業で何をするのかについての説明です。

④成績評価方法・基準

成績評価をどのように行うのか、またその基準はどのようにになっているのかについての説明です。

⑤準備学習

科目を履修し単位を取得するためには、授業時間だけでなく授業以外の時間についても学習することが求められています。準備学習とは授業時間以外の学習（予習・復習）のことで、その学習方法やそれに必要な時間またはそれに準ずる程度の具体的な学習内容についての説明です。

⑥テキスト・参考図書・材料費

テキストとは授業で使用する教科書のことで、必ず購入するようにしてください。

参考図書とは授業の理解を深め、予習・復習に利用できる書籍のことで、必ずしも購入する必要はありませんが、必要に応じて参照するようにしてください。

また、授業によっては材料費がかかる科目もありますので、確認のうえ履修登録をしてください。

⑦履修上の注意・ライセンスなど

この科目を履修するにあたっての注意点等の説明です。科目によっては他の科目の単位修得が条件になる科目や、特定の学内ライセンスが必要になる科目もあります。また、この科目の単位修得をすることで得られる学内ライセンスについても説明しています。

履修登録の際には、以上の内容を確認し、履修登録を行ってください。そして、しっかりと準備をして授業に臨むようにしてください。

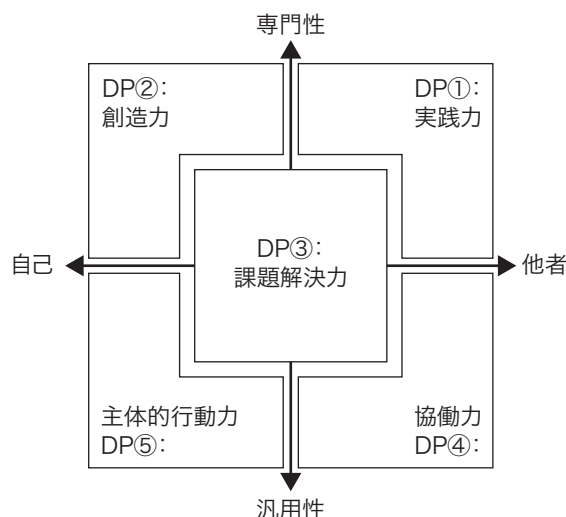
人材育成目的

建学の精神、校訓、および基本理念(教育理念)の下、芸術分野の専門性と創造性(クリエイティビティ)に優れ、よりよき社会のあり方について主体的に考え行動することができる人材の育成を目的とする。

ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)

人材育成目的を実現するために、本学では、所定の課程を修め、124単位の単位修得と必修等の条件を充たしたうえで、以下に示す資質・能力を修得した者に学位を授与する。

- (1) 実践力
専門分野をいかし、社会の中で実践することができる。
- (2) 創造力
専門分野における制作によって、獲得した知識・技能・態度等を総合的にいかし成果を提示できる。
- (3) 課題解決力
課題を正しく理解し、解決策を立て実行することができる。
- (4) 協働力
多様性の理解を深め、他者とともに行動し、集団や社会のために貢献することができる。
- (5) 主体的行動力
自分の目標をもち、その実現のために、自らを律しつつ誠意と熱意をもって行動することができる。



カリキュラム・ポリシー (教育課程編成方針)

- (1) 学修の順次性を明確にし、芸術分野における実践力、創造力、課題解決力、協働力、および主体的行動力を養成するカリキュラムを構築する。
- (2) 1年前期・後期を《専門導入課程》、2年前期・後期、3年前期・後期を《専門基盤課程》、4年前期・後期を《専門研究課程》の3段階で編成する。各科目を「専門科目」と「学部共通科目」に分類する。
- (3) 学修成果を、各科目において掲げる学修目標への到達度により厳正に評価する。《専門基盤課程》に進むにあたり基礎的な専門能力を、また《専門研究課程》に進むにあたっては主体的に研究を行う能力の有無を見極める進級審査を実施する。
- (4) 導入教育を充実させて以後の学びを進めるために必要な汎用的基礎力(協働力および主体的行動力)と課題解決力を養成し、またそれぞれが学ぶ専門分野と密接に結びついた創造力および実践力を確立できる科目を設置する。

a.「専門科目」では、課程に応じて「専門導入科目群」、「専門基盤科目群」、「専門研究科目群」の3つの段階で履修する。「専門導入科目群」では専門分野を修めるために必要不可欠な最低限の知識や技能を養うための実習科目と演習科目が、「専門基盤科目群」では各自の専門領域の基盤となる知識や技術を修得することで専門性を深く究めるための実習科目と演習科目がある。「専門研究科目群」ではゼミ段階的な履修や選択的な履修をもとに、各自の専門領域にかかわる知識や技術を広く修得することを通して、より高度な表現力や思考力を獲得するとともに、各自が主体的に自律的研究を進め、専門性を深く究めるための科目、卒業研究を設置している。

b.「学部共通科目」は専門分野の研究やその後の進路を支える広範な学びを提供する科目で、「基礎科目群」、「応用科目群」、「教養科目群」、「社会実践科目群」の4つを大きな柱としている。

「基礎科目群」では、4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎的学力を身につけるスタートプログラム科目や芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支える芸術基礎科目、基本的な造形力を幅広く身につけるファウンデーション科目で構成されている。

「応用科目群」では、広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を修得するための芸術応用科目を提供する。

「教養科目群」には幅広い視点から造形活動を捉えることができる資質を獲得するための教養科目、異文化コミュニケーション能力を身につけるための外国語科目がある。また、単位互換協定を締結した大学、短期大学の科目を受講することもできる。

「社会実践科目群」は、社会との関係のなかで自己を確認し、卒業後の自己実現のために寄与する科目群である。地域貢献・プロジェクト科目は、地域社会における実践的な学びで、課題解決力を養う科目である。また、キャリアデザイン科目は、段階的な学びにおいて各自の目標に合わせたキャリアデザインを構築するための科目である。

科目の種別及び受講科目の考え方

授業科目は、必修科目・指定科目(必修科目に準ずる)・選択科目から構成しています。また、学習目標の確実な積み上げを保証するために、受講科目を学年で指定しています。

必修科目

卒業するために単位修得が必要な科目です。この科目は、各領域で指定しているスタンダードカリキュラムを学んだのち、最終学年で自分の専門分野の集大成として学びます。

◎専門研究科目群	○専門研究科目	【2科目 10単位】 卒業研究1・2	履修取消はできません
----------	---------	-----------------------	------------

指定科目(必修科目に準ずる科目)

芸術学を専門とする本学の学びを確実にするために必要な科目を指定科目としています。この科目は、各領域(コース)の専門性を取得する為に指定している科目及び本学の学びの質を保証する科目から構成されており、各学年で受講が指定されています。

領域受講指定科目

各領域(コース)の専門的な内容をスタンダードカリキュラムとして受講科目を指定して提供しています。領域の専門性を取得するのに必要な科目であるため単位修得を原則とします。単位修得できなかった場合は、必ず領域教員から再履修指導を受けます。

◎専門導入科目群	○専門導入科目	【6科目 12単位】 領域基礎造形実習1～4、領域別演習1・2、(地域実践領域は、地域実践学入門1・2、地域実践基礎演習1～4)	履修取消はできません
◎専門基盤科目群	○専門基盤科目	【16科目 32単位】 コース別実習1～8、コース別演習1～8、(地域実践領域は、地域実践学1～4、地域実践演習1～8、地域実践プロジェクト演習1～4)	履修取消はできません
◎応用科目群	○芸術応用科目	【5科目 10単位】 領域別概論、領域が指定する理論科目	履修取消はできません

学部共通受講指定科目

本学の学びの質を保証する基礎的な要素を[大学入門][学びの基礎][社会貢献]として共通教育センターが受講科目を指定して提供しています。

◎基礎科目群	○スタートプログラム科目	【6科目 6単位】 大学入門1・2、スタディスキル実習1～4	履修取消はできません
	○ファウンデーション科目	【6科目 6単位】 ファウンデーション実習A1～A4、 ファウンデーション実習B1・B2・B3	履修取消はできません
◎社会実践科目群	○地域貢献・プロジェクト科目	【1科目 2単位】 コミュニティデザイン概論	履修取消はできません
	○キャリアデザイン科目	【2科目 2単位】 キャリアデザイン概論1・2	履修取消はできません

選択受講指定科目

本学の学びの質を発展的に保証する要素として〔芸術基礎〕〔芸術応用〕〔社会貢献〕として共通教育センターが下記の科目分類ごとに必要単位数を指定しています。

◎基礎科目群	○芸術基礎科目	【1年次に4科目 8単位以上を選択し受講すること】 東洋・日本美術史概説A/B、西洋美術史概説A/B、 デザイン史概説A/B
◎応用科目群	○芸術応用科目	【2科目 4単位以上】 所属する領域で受講指定する 領域別概論、領域論1～4以外に 応用科目群の中から2科目4単位を選択して受講すること
◎社会実践科目群	○地域貢献・プロジェクト科目	【1科目 2単位以上を選択し受講すること】 コミュニティデザイン論1・2、近江学A・B、琵琶湖の民俗史、 エコロジーと社会、プロジェクト演習A1・A2・B1・B2・C1・C2・D1・D2・E1
	○キャリアデザイン科目	【2年次以降の科目より、1科目 2単位以上を選択し受講すること】 キャリアデザイン演習A1・A2・B・C、キャリア実践演習A・B、 キャリアデザイン特論A・B、社会人基礎力研究

選択科目

芸術学の専門に関連する科目を自主的に選択して学べる科目です。〔幅広い教養〕〔多文化・異文化理解とコミュニケーション〕〔他大学の学び〕をカテゴリとして提供しています。

◎教養科目群	○教養科目
	○外国語科目
	○単位互換事業科目

- * 単位互換事業科目については、受講が許可された場合の〔履修取消〕は認めません。
- * 領域・コースが学生の専門分野の学習において推奨する科目は、領域推奨科目として紹介します。
- * 共通教育センターが学生のめざすものによって推奨する科目は学部共通推奨科目として紹介します。
(キャリアデザイン科目、学芸員課程科目、教職課程科目 等)

卒業に必要な単位数

必修科目	10単位
指定科目（必修科目に準ずる）	114単位以上 ● 114単位には、 領域受講指定科目（専門導入科目、専門基盤科目、芸術応用科目）54単位及び学部共通科目の芸術基礎科目8単位以上、芸術応用科目4単位以上、地域貢献・プロジェクト科目4単位以上、キャリアデザイン科目4単位以上を必要とする。
選択科目	

1. 専門科目

専門科目とは、各領域(コース)がその領域に所属する学生に対して提供する科目で、専門導入科目、専門基盤科目、専門研究科目から構成され、各領域・各コースの専門分野を修めるために必要不可欠な科目です。学びの順次性により各学年・各学期に配当され履修します。各領域とも4学年(8学期)で合計54単位となります。

2. 共通教育センター科目(学部共通科目)

共通教育センター科目(学部共通科目)とは、基礎科目群、応用科目群、教養科目群、社会実践科目群から構成され共通教育センター所属の教員がこの科目群をバックアップしています。

①基礎科目群

芸術大学に進学した学生が等しく身につけるべき知識や技能を修得するために1年生全員が学ぶ科目で以下の科目で構成されます。

スタートプログラム科目 …… 4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎学力を身につけるための科目です。

芸術基礎科目 …… 芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支えるための科目です。

ファウンデーション科目 …… 所属する領域に関係なく10～12クラスに編成されて、専門分野の枠を超えた教員組織の指導のもと、美術経験の多少にかかわらず、表現することの面白さを体感することを通して芸術学部共通の造形基礎を学ぶ科目です。「描く」「つくる」「発想する」の3つの基本的なテーマに沿って、実技、講義、ワークショップ、発表、合評などで授業を構成し、表現課程での工夫や発見を通して、視野を広げていく楽しさと柔軟な思考を養う「ファウンデーション実習A」やコンピュータの基礎を学ぶ「ファウンデーション実習B」があります。

②応用科目群

広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を養うために必要不可欠な科目群です。

③教養科目群

各学生の専門や志向に有益な学問領域について自主的に学ぶことができる科目群で、教養科目、外国語科目、単位互換事業科目で構成されます。

④社会実践科目群

「芸術による社会への貢献」を実践する科目群で自分の将来の姿を実現に近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会貢献を実現するプロジェクトを単位化する地域貢献・プロジェクト科目があります。

3. 学芸員課程科目

学芸員課程科目は、博物館法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されています。

「学芸員課程履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、学芸員課程科目を卒業のために必要な単位として算入することはできません。

4. 教職課程科目

教職課程科目は、教育職員免許法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されます。

「教職課程履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、教職課程科目は卒業のために必要な単位として算入することはできません。

5. 二級建築士受験資格講座科目

二級建築士、木造建築士の受験資格を得るために必要な本学が指定する科目で、「二級建築士受験資格講座履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、二級建築士受験資格講座科目は卒業に必要な単位として算入することはできません。

■総合領域の特色・各課程での学びについて

コト・モノ・情報のそれぞれの分野でデザインを行うプロセスを繰り返し学び、社会の問題を解決する思考を獲得します。また横断的な学びから生まれる多様な視点により、コミュニケーションを重ねて、情報を整理する編集力や新しい考え方をまとめる企画力、そして実現するためのマネジメント力などを4年間をととして学びます。

●専門導入課程（1年生）

調査や取材で得られたものごとを言葉や絵や図で表しまとめて発表する、コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎力と、世の中のものごとをとらえる様々な視点を学びます。また、個々の制作活動をポートフォリオにまとめ、客観的に考察することで4年間の履修計画を立てます。

●専門基盤課程（2～3年生）

「調査」から始まり「問題の発見」、「発想」、「構築」、「試行」というプロセスを繰り返し学び、コト・モノ・情報の分野において実践的で創造的な問題解決に取り組めます。また情報処理やプレゼンテーション、コミュニケーションのためのITスキルを習得します。他分野の履修体験を含めた幅広く総合的な視点を獲得して、創造的な発案をおこない実行するためのプロデュース能力につなげます。

●専門研究課程（4年生）

4年間の学びの集大成として、各自が設定したテーマに沿って実践的な研究をおこないます。さまざまな課題に対して向き合うことで問題を共有し、社会に対して新しい価値観を提案します。

芸術学科 総合領域

カリキュラム		単位数	授 業 形 態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
				1 年	2 年	3 年	4 年			
専門導入科目	基礎造形実習1A	2	実習	○				領域受講指定科目 イラストレーション/美術領域 開講		各領域の専門演習、実習、総合プロジェクト演習から計8単位を修得すること
	基礎造形実習2A	2	実習	○				領域受講指定科目 美術領域開講		
	基礎造形実習3A	2	実習	○				領域受講指定科目 イラストレーション/情報デザイン領域開講		
	基礎造形実習4A	2	実習	○				領域受講指定科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習2B	2	実習	○				領域受講指定科目 イラストレーション領域開講		
	基礎造形実習4B	2	実習	○				領域受講指定科目 イラストレーション領域開講		
	基礎造形実習3C	2	実習	○				領域受講指定科目 美術領域開講		
	基礎造形実習4C	2	実習	○				領域受講指定科目 美術領域開講		
	基礎造形実習1D	2	実習	○				領域受講指定科目 情報デザイン領域開講		
	基礎造形実習2D	2	実習	○				領域受講指定科目 情報デザイン領域開講	写真Cライセンス	
	基礎造形実習4D	2	実習	○				領域受講指定科目 情報デザイン領域開講目	映像スタジオF	
	基礎造形実習1E	2	実習	○				領域受講指定科目 空間デザイン領域開講		
	基礎造形実習2E	2	実習	○				領域受講指定科目 空間デザイン領域開講		
	基礎造形実習3E	2	実習	○				領域受講指定科目 空間デザイン領域開講		
	総合デザイン基礎演習1	2	演習	○						
	総合デザイン基礎演習2	2	演習	○						
専門基盤科目	総合デザイン演習1	2	演習	○						領域の専門基盤科目 20単位を修得すること
	総合デザイン演習2	2	演習	○						
	総合デザイン演習3	2	演習	○						
	総合デザイン演習4	2	演習	○						
	総合デザイン演習5	2	演習		○					
	総合デザイン演習6	2	演習		○					
	総合デザイン演習7	2	演習		○					
	総合デザイン演習8	2	演習		○					
	総合デザイン実習1	2	実習	○						各領域の専門演習、実習、総合プロジェクト演習から12単位を選択して修得すること
	総合デザイン実習2	2	実習		○					
	他領域専門科目	2			○					
	他領域専門科目	2			○					
	他領域専門科目	2			○					
	他領域専門科目	2			○					
	他領域専門科目	2			○					
	他領域専門科目	2			○					
	総合プロジェクト演習1～5		演習	○	○	○				
専門研究科目	卒業研究1	4	演習				○			領域の専門研究科目 10単位を修得すること
	卒業研究2	6	演習				○			
芸術応用科目	総合デザイン概論	2	講義	○						領域の芸術応用科目 2単位及び他領域が 受講指定する芸術応用 科目から8単位を修得 すること
	領域別理論科目	2	講義		○					
	領域別理論科目	2	講義		○					
	領域別理論科目	2	講義			○				
	領域別理論科目	2	講義			○				

芸術学科 総合領域 総合デザインコース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程			
		1年		2年		3年		4年			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専攻科目／54単位	必修科目／10単位							卒業研究1卒業研究2			
		総合デザイン基礎演習1 言葉によるコミュニケーション	総合デザイン基礎演習2 スケッチによるコミュニケーション	総合デザイン演習1 伝えるための情報収集と整理	総合デザイン演習3 伝えるための情報収集と整理2	総合デザイン演習4 webとデザイン	総合デザイン演習7 サービスのデザイン				
				総合デザイン演習2 気づきからデザインへ	総合デザイン演習5 デザインの再解釈	総合デザイン演習6 コトのデザイン	総合デザイン演習8 社会のためのデザイン				
					総合デザイン実習1 編集デザイン	総合デザイン実習2 トータルデザイン					
		基礎造形実習 基礎的造形力育成	基礎造形実習 基礎的造形力育成	1～2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)			1～3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)				
芸術応用科目／10単位	領域指定科目／54単位	基礎造形実習 基礎的造形力育成	基礎造形実習 基礎的造形力育成	1～2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)		1～3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1～3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)				
		総合プロジェクト演習1～5									
		総合デザイン概論 総合デザインとは何か		領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目				
		大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論							
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3								
共通教育センター(学部共通)科目	学部受講指定科目	スタディスキル実習2	スタディスキル実習4								
		ファウンダーシジョン実習A1	ファウンダーシジョン実習A3								
		ファウンダーシジョン実習A2	ファウンダーシジョン実習A4								
		ファウンダーシジョン実習B1	ファウンダーシジョン実習B2								
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2								
		東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上							
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B								
		デザイン史概説A	デザイン史概説B								
				芸術応用科目 2科目4単位以上							
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目 1科目2単位以上									

イラストレーション領域

■イラストレーション領域の特色・各課程での学びについて

イラストレーションは、情報を伝達するための図版から、媒体や技術の発展とともに、挿絵・装飾・マンガ・アニメーション・ゲーム・キャラクター造形・立体・動画など、様々なアプローチと多様性をもって発展してきました。

成安造形大学のイラストレーション領域では、アナログ・デジタルを問わず「描く力」をつけることを基礎とし、各自が様々な表現の立ち位置を明確にし専門性を高めるための4コースを設定しています。

●メディアイラスト表現コース

出版印刷複製で使われるイラストレーションと展開方法を学び、絵柄や作家性を探求。

●キャラクターイラスト表現コース

生き生きとしたキャラクターを表現するため、造形や物語について学びます。

●映像イラスト表現コース

アニメーションや3DCGなど、イラストレーションで作る映像表現を探求。

●アートイラスト表現コース

アナログ・デジタルともに表現の深さや広さを学び、世界観のビジュアライズを探求。

●専門導入課程（1年生）

全てのコースの要素が含まれる共通の導入授業により、基礎力をつけます。

●専門基盤課程（2～3年生）

2年生進級時にコースを選択します。所属コース実習（必修）による専門性や知識を軸足とし、選択実習・演習・論を通して知識と表現の幅を広げます。

●演習＝全コースに共通する基本的なデザインスキル・クロッキー・色彩・空間表現などを学びます。

●イラストレーション概論・論＝歴史・広がり・実務を学びます。

●専門研究課程（4年生）

専門研究課程ではゼミに所属して、自らテーマを設定し計画～制作～発表までを卒業研究として取り組みます。

芸術学科 イラストレーション領域

カリキュラム	単位数		授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
	必修	指定	選択	1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習1A	2	実習	○				領域受講指定科目 イラスト領域開講		領域の基礎造形実習1～4計8単位を修得すること
	基礎造形実習3A	2	実習	○				領域受講指定科目 イラスト領域開講		
	基礎造形実習2B	2	実習	○				領域受講指定科目 イラスト領域開講		
	基礎造形実習4B	2	実習	○				領域受講指定科目 イラスト領域開講		
	イラストレーション基礎演習1	2	演習	○				領域共通科目		領域の基礎演習4単位を修得すること
	イラストレーション基礎演習2	2	演習	○				領域共通科目		
専門基盤科目	イラストレーション演習1	2	演習	○				領域共通科目		領域の専門基盤科目の演習(領域共通科目)16単位を修得すること
	イラストレーション演習2	2	演習	○				領域共通科目		
	イラストレーション演習3	2	演習	○				領域共通科目		
	イラストレーション演習4	2	演習	○				領域共通科目		
	イラストレーション演習5	2	演習		○			領域共通科目		
	イラストレーション演習6	2	演習			○		領域共通科目		
	イラストレーション演習7	2	演習			○		領域共通科目		
	イラストレーション演習8	2	演習			○		領域共通科目		
	メディアイラスト表現実習1	2	実習	○				メディアイラスト表現コース科目		領域の専門基盤科目の自分が所属しているコース(自コース)の実習科目(○○表現コース科目)8単位と、他コースの実習科目もしくは領域共通選択科目(選択実習1～20)から選択して8単位、合計16単位を修得すること
	メディアイラスト表現実習2	2	実習	○				メディアイラスト表現コース科目		
	メディアイラスト表現実習3	2	実習			○		メディアイラスト表現コース科目		
	メディアイラスト表現実習4	2	実習			○		メディアイラスト表現コース科目		
	キャラクターイラスト表現実習1	2	実習	○				キャラクターイラスト表現コース科目		
	キャラクターイラスト表現実習2	2	実習	○				キャラクターイラスト表現コース科目		
	キャラクターイラスト表現実習3	2	実習			○		キャラクターイラスト表現コース科目		
	キャラクターイラスト表現実習4	2	実習			○		キャラクターイラスト表現コース科目		
	映像イラスト表現実習1	2	実習	○				映像イラスト表現コース科目	映像スタジオライセンス(イラスト)	
	映像イラスト表現実習2	2	実習	○				映像イラスト表現コース科目		
	映像イラスト表現実習3	2	実習			○		映像イラスト表現コース科目		
	映像イラスト表現実習4	2	実習			○		映像イラスト表現コース科目		
	アートイラスト表現実習1	2	実習	○				アートイラスト表現コース科目		
	アートイラスト表現実習2	2	実習	○				アートイラスト表現コース科目		
	アートイラスト表現実習3	2	実習			○		アートイラスト表現コース科目		
	アートイラスト表現実習4	2	実習			○		アートイラスト表現コース科目		
	イラストレーション選択実習1	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習2	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習3	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習4	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習5	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習6	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習7	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習8	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習9	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習10	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習11	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習12	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習13	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習14	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習15	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習16	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習17	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習18	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習19	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
	イラストレーション選択実習20	2	実習	○	○			領域共通選択科目		
科研専門	卒業研究1	4	演習				○			領域の専門研究科目10単位を修得すること
	卒業研究2	6	演習				○			
芸術応用科目	イラストレーション概論	2	講義	○						領域の芸術応用科目10単位を修得すること
	イラストレーション論1	2	講義		○					
	イラストレーション論2	2	講義			○				
	イラストレーション論3	2	講義				○			
	イラストレーション論4	2	講義				○			

芸術学科 イラストレーション領域 メディアイラスト表現コース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程					
		1年		2年		3年		4年					
		前期または後期		前期 後期		前期 後期		前期 後期					
専門科目／54単位	／必修科目 10単位 ↑ 領域指定科目／54単位 ↓							卒業研究1 卒業研究2					
		基礎造形実習1A 基礎描写		基礎造形実習2B 基礎画材研究		メディアイラスト表現実習1 挿絵基礎		メディアイラスト表現実習2 複製と展開		メディアイラスト表現実習3 ブックデザイン		メディアイラスト表現実習4 シリーズ制作	
		基礎造形実習3A デザイン基礎・立体基礎		基礎造形実習4B デジタル作画／動画基礎		選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択		選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択		選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択		選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択	
		前期 イラストレーション基礎演習2 クロッキー1		後期 イラストレーション基礎演習1 空間表現基礎		前期または後期 イラストレーション演習4 色彩		前期または後期 イラストレーション演習1 クロッキー2		前期または後期 イラストレーション演習5 DTP2		前期または後期 イラストレーション演習7 クロッキー4	
芸術応用科目 ／10単位		イラストレーション概論 イラストレーションの歴史と表現・実務概論		イラストレーション論1 イラストレーションの歴史と表現・実務1		イラストレーション論2 イラストレーションの歴史と表現・実務2		イラストレーション論3 イラストレーションの歴史と表現・実務3		イラストレーション論4 イラストレーションの歴史と表現・実務4			
		前期または後期 イラストレーション演習2 DTP1		前期または後期 イラストレーション演習3 写真		前期または後期 イラストレーション演習6 クロッキー3		前期または後期 イラストレーション演習8 映像から読み取る					
		イラストレーション概論 イラストレーションの歴史と表現・実務概論		イラストレーション論1 イラストレーションの歴史と表現・実務1		イラストレーション論2 イラストレーションの歴史と表現・実務2		イラストレーション論3 イラストレーションの歴史と表現・実務3		イラストレーション論4 イラストレーションの歴史と表現・実務4			
		イラストレーション概論 イラストレーションの歴史と表現・実務概論		イラストレーション論1 イラストレーションの歴史と表現・実務1		イラストレーション論2 イラストレーションの歴史と表現・実務2		イラストレーション論3 イラストレーションの歴史と表現・実務3		イラストレーション論4 イラストレーションの歴史と表現・実務4			
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1		大学入門2		コミュニティデザイン概論							
		スタディスキル実習1		スタディスキル実習3									
		スタディスキル実習2		スタディスキル実習4									
		ファウンデーション実習A1		ファウンデーション実習A3									
		ファウンデーション実習A2		ファウンデーション実習A4									
		ファウンデーション実習B1		ファウンデーション実習B2									
		キャリアデザイン概論1		キャリアデザイン概論2									
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A		東洋・日本美術史概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上							
		西洋美術史概説A		西洋美術史概説B									
		デザイン史概説A		デザイン史概説B									

芸術基礎科目
 4科目8単位以上

芸術応用科目 2科目4単位以上

地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上

キャリアデザイン科目 1科目2単位以上

芸術学科 イラストレーション領域 キャラクターイラスト表現コース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期 後期		前期 後期		前期 後期	
専門科目／54単位	／必修 10単位 ↑ 領域指定科目／54単位 ↓							卒業研究1 卒業研究2	
		基礎造形実習1A 基礎描写	基礎造形実習2B 基礎画材研究	キャラクターイラスト 表現実習1 キャラクター造形	キャラクターイラスト 表現実習2 キャラクター展開	キャラクターイラスト 表現実習3 ストーリー	キャラクターイラスト 表現実習4 テーマ制作		
		基礎造形実習3A デザイン基礎・ 立体基礎	基礎造形実習4B デジタル作画／ 動画基礎	選択実習 当期に開講される領域共通のイ ラストレーション選択実習1～ 20、もしくは他コースのイラスト 表現実習から1科目を選択	選択実習 当期に開講される領域共通のイ ラストレーション選択実習1～ 20、もしくは他コースのイラスト 表現実習から1科目を選択	選択実習 当期に開講される領域共通のイ ラストレーション選択実習1～ 20、もしくは他コースのイラスト 表現実習から1科目を選択	選択実習 当期に開講される領域共通のイ ラストレーション選択実習1～ 20、もしくは他コースのイラスト 表現実習から1科目を選択		
		前期 イラストレーション 基礎演習2 クロッキー1	後期 イラストレーション 基礎演習1 空間表現基礎	前期または後期 イラストレーション 演習4 色彩	前期または後期 イラストレーション 演習1 クロッキー2	前期または後期 イラストレーション 演習5 DTP2	前期または後期 イラストレーション 演習7 クロッキー4		
芸術応用科目 ／10単位	↓	イラストレーション 概論 イラストレーションの 歴史と表現・実務 概論		イラストレーション 論1 イラストレーションの 歴史と表現・実務1	イラストレーション 論2 イラストレーションの 歴史と表現・実務2	イラストレーション 論3 イラストレーションの 歴史と表現・実務3	イラストレーション 論4 イラストレーションの 歴史と表現・実務4		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティ デザイン概論					
		スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンダー ション実習A1	ファウンダー ション実習A3						
		ファウンダー ション実習A2	ファウンダー ション実習A4						
		ファウンダー ション実習B1	ファウンダー ション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
		芸術応用科目 2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目 1科目2単位以上							

芸術学科 イラストレーション領域 映像イラスト表現コース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程					
		1年		2年		3年		4年					
		前期または後期		前期 後期		前期 後期		前期 後期					
専門科目／54単位	／必修 10単位 ↑ 領域指定科目／54単位 ↓							卒業研究1 卒業研究2					
		基礎造形実習1A 基礎描写		基礎造形実習2B 基礎画材研究		映像イラスト表現実習1 3DCG基礎		映像イラスト表現実習2 アニメ作画・映像合成		映像イラスト表現実習3 グループ制作		映像イラスト表現実習4 テーマ制作	
		基礎造形実習3A デザイン基礎・立体基礎		基礎造形実習4B デジタル作画／動画基礎		選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択		選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択		選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択		選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択	
		前期 イラストレーション基礎演習2 クロッキー1		後期 イラストレーション基礎演習1 空間表現基礎		前期または後期 イラストレーション演習4 色彩		前期または後期 イラストレーション演習1 クロッキー2		前期または後期 イラストレーション演習5 DTP2		前期または後期 イラストレーション演習7 クロッキー4	
芸術応用科目 ／10単位	↑ ↓	イラストレーション概論 イラストレーションの歴史と表現・実務概論		イラストレーション論1 イラストレーションの歴史と表現・実務1		イラストレーション論2 イラストレーションの歴史と表現・実務2		イラストレーション論3 イラストレーションの歴史と表現・実務3		イラストレーション論4 イラストレーションの歴史と表現・実務4			
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1		大学入門2		コミュニティデザイン概論							
		スタディスキル実習1		スタディスキル実習3									
		スタディスキル実習2		スタディスキル実習4									
		ファウンデーション実習A1		ファウンデーション実習A3									
		ファウンデーション実習A2		ファウンデーション実習A4									
		ファウンデーション実習B1		ファウンデーション実習B2									
		キャリアデザイン概論1		キャリアデザイン概論2									
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A		東洋・日本美術史概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上							
		西洋美術史概説A		西洋美術史概説B									
		デザイン史概説A		デザイン史概説B									
		芸術応用科目 2科目4単位以上											
		地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上											
		キャリアデザイン科目 1科目2単位以上											

芸術学科 イラストレーション領域 アートイラスト表現コース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期 後期		前期 後期		前期 後期	
専門科目／54単位	／必修科目 10単位 ↑ 領域指定科目／54単位 ↓							卒業研究1 卒業研究2	
		基礎造形実習1A 基礎描写	基礎造形実習2B 基礎画材研究	アートイラスト表現実習1 ウェットメディア	アートイラスト表現実習2 ドライメディア	アートイラスト表現実習3 空間表現	アートイラスト表現実習4 テーマ制作		
		基礎造形実習3A デザイン基礎・立体基礎	基礎造形実習4B デジタル作画／動画基礎	選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択	選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択	選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択	選択実習 当期に開講される領域共通のイラストレーション選択実習1～20、もしくは他コースのイラスト表現実習から1科目を選択		
		前期 イラストレーション基礎演習2 クロッキー1	後期 イラストレーション基礎演習1 空間表現基礎	前期または後期 イラストレーション演習4 色彩	前期または後期 イラストレーション演習1 クロッキー2	前期または後期 イラストレーション演習5 DTP2	前期または後期 イラストレーション演習7 クロッキー4		
芸術応用科目 ／10単位		イラストレーション概論 イラストレーションの歴史と表現・実務概論		イラストレーション論1 イラストレーションの歴史と表現・実務1	イラストレーション論2 イラストレーションの歴史と表現・実務2	イラストレーション論3 イラストレーションの歴史と表現・実務3	イラストレーション論4 イラストレーションの歴史と表現・実務4		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4						
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
		芸術応用科目 2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目 1科目2単位以上							

美術領域

■美術領域の特色・各課程での学びについて

美術領域では、演習や実習を通して様々な「技法」「知識」「表現力」を高め、ものづくりに必要な基礎技術を養います。また美術概論や美術論などの座学では、多様な美術の在り様を歴史と共に学びます。その上で日本画・洋画・現代アートの各コースにおける専門的な実践によって、個人の経験と社会との重なりに向き合い、考え、形にする力を培います。美術を通じた4年間の学びによって、幅広い分野で必要とされる、自ら考え作り出す力＝「創造力」を持った人材育成を目指します。

●専門導入課程（1年生）

基礎造形実習科目の学習目標は、平面・立体表現の基礎を学び、造形力を高めることです。その上で日本画・洋画・現代アートそれぞれの専門教育の導入として、各分野の基礎を修得します。また演習科目や領域概論では、近現代の芸術家の活動や作品紹介を通じて「描く」「つくる」「表現する」行為について幅広く考察します。

●専門基盤課程（2～3年生）

演習科目において、各コースの専門性に基づく「技法」「素材」「表現方法」について多角的に学び、専門分野の表現の根幹となる「技術力」「造形力」そして「感性」をさらに磨きます。実習科目では、思考しながら自らの作品テーマを探索し、独創性のある表現方法の獲得を目指して、実践的研究を継続します。

●専門研究課程（4年生）

現代社会に生きる一表現者としての自覚を持ち、主体的な研究を実践します。自らの興味関心を、学術、実践、両面において探求することで視野を広げ、分野的独自性のある研究テーマの発見を目指します。自らの実践的研究を確固たるものにしていく主体的研究の手法を学び、その成果を作品としてまとめます。

芸術学科 美術領域

カリキュラム		単位数		授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	指定	選択	1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習1A		2		実習	○			領域受講指定科目 美術領域開講		基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習2A		2		実習	○			領域受講指定科目 美術領域開講		
	基礎造形実習3C		2		実習	○			領域受講指定科目 美術領域開講		
	基礎造形実習4C		2		実習	○			領域受講指定科目 美術領域開講		
	美術基礎演習1		2		演習	○			領域共通科目		領域の基礎演習 4単位を修得すること
	美術基礎演習2		2		演習	○			領域共通科目		
専門基盤科目	美術演習1		2		演習	○			領域共通科目		領域共通および 各コースの専門基盤 科目32単位を修得すること
	美術演習3		2		演習	○			領域共通科目		
	美術演習2-a		2		演習	○			日本画コース科目		
	美術演習4-a		2		演習	○			日本画コース科目		
	美術演習5-a		2		演習	○			日本画コース科目		
	美術演習6-a		2		演習	○			日本画コース科目		
	美術演習7-a		2		演習		○		日本画コース科目		
	美術演習8-a		2		演習		○		日本画コース科目		
	美術実習1-a		2		実習	○			日本画コース科目		
	美術実習2-a		2		実習	○			日本画コース科目		
	美術実習3-a		2		実習	○			日本画コース科目		
	美術実習4-a		2		実習	○			日本画コース科目		
	美術実習5-a		2		実習		○		日本画コース科目		
	美術実習6-a		2		実習		○		日本画コース科目		
	美術実習7-a		2		実習		○		日本画コース科目		
	美術実習8-a		2		実習		○		日本画コース科目		
	美術演習2-b		2		演習	○			洋画コース科目		
	美術演習4-b		2		演習	○			洋画コース科目		
	美術演習5-b		2		演習	○			洋画コース科目		
	美術演習6-b		2		演習	○			洋画コース科目		
	美術演習7-b		2		演習		○		洋画コース科目		
	美術演習8-b		2		演習		○		洋画コース科目		
	美術実習1-b		2		実習	○			洋画コース科目		
	美術実習2-b		2		実習	○			洋画コース科目		
	美術実習3-b		2		実習	○			洋画コース科目		
	美術実習4-b		2		実習		○		洋画コース科目		
	美術実習5-b		2		実習		○		洋画コース科目		
	美術実習6-b		2		実習	○			洋画コース科目		
	美術実習7-b		2		実習		○		洋画コース科目		
	美術実習8-b		2		実習		○		洋画コース科目		
	美術演習2-c		2		演習	○			現代アートコース科目		
	美術演習4-c		2		演習	○			現代アートコース科目		
	美術演習5-c		2		演習	○			現代アートコース科目		
	美術演習6-c		2		演習	○			現代アートコース科目		
	美術演習7-c		2		演習		○		現代アートコース科目		
	美術演習8-c		2		演習		○		現代アートコース科目		
	美術実習1-c		2		実習	○			現代アートコース科目		
	美術実習2-c		2		実習	○			現代アートコース科目	写真C(白スタジオ限定) ライセンス	
	美術実習3-c		2		実習		○		現代アートコース科目		
	美術実習4-c		2		実習	○			現代アートコース科目		
	美術実習5-c		2		実習		○		現代アートコース科目		
	美術実習6-c		2		実習		○		現代アートコース科目		
	美術実習7-c		2		実習	○			現代アートコース科目		
	美術実習8-c		2		実習		○		現代アートコース科目		
専門研究科目	卒業研究1	4			演習			○			領域の専門研究科目 10単位を修得すること
	卒業研究2	6			演習			○			
芸術応用科目	美術概論		2		講義	○					領域の芸術応用科目 10単位を修得すること
	美術論1		2		講義	○					
	美術論2		2		講義	○					
	美術論3		2		講義			○			
	美術論4		2		講義			○			

学修システム・カリキュラム

美術領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 美術領域 日本画コース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学修システム・カリキュラム	専門科目 / 54単位 領域指定科目 / 54単位 芸術応用科目 / 10単位							卒業研究1	卒業研究2
		基礎造形実習1A 絵画表現基礎 *領域共通科目	基礎造形実習3C 油彩入門+現代アート入門 *領域共通科目	美術実習1-a 写生表現	美術実習3-a 静物表現	美術実習5-a 人物表現	美術実習7-a 風景表現		
		基礎造形実習2A 立体表現基礎 *領域共通科目	基礎造形実習4C 日本画入門+現代アート入門 *領域共通科目	美術実習2-a 植物表現	美術実習4-a 動物表現	美術実習6-a コスチューム表現	美術実習8-a 各自のテーマによる表現		
		美術基礎演習1 美術入門 *領域共通科目	美術基礎演習2 現代美術考察 *領域共通科目 <地域貢献>	美術演習1 古美術研究 *領域共通科目 <地域貢献>	美術演習3 美術の現場 *領域共通科目	美術演習7-a 日本画研究Ⅲ 絵具をつくる	美術演習8-a 日本画研究Ⅳ 作家研究		
美術領域			美術概論 美術入門	美術演習2-a 材料研究Ⅰ 歴史と技法	美術演習4-a 材料研究Ⅱ 箔・絹に描く				
				美術演習5-a 日本画研究Ⅰ 古典	美術演習6-a 日本画研究Ⅱ マテリアルを知る				
				美術論1 近代日本画作家研究	美術論2 近代以降の絵画を めぐる諸概念	美術論3 近代以降の芸術と 社会の変容	美術論4 現代アート概論 「彫刻」を キーワードに		
共通教育センター科目		大学入門1	大学入門2	コミュニティ デザイン概論		領域授講推奨科目 ・特別講義3 ・現代美術論A ・現代美術論B ・絵画材料学			
		スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンダー ション実習A1	ファウンダー ション実習A3						
学芸員課程科目		ファウンダー ション実習A2	ファウンダー ション実習A4						
		ファウンダー ション実習B1	ファウンダー ション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
教職課程科目		東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
二級建築士受験資格講座科目				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

■ 芸術学科 美術領域 洋画コース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専 門 科 目 ／ 54 単 位	／必 修 単 位 10							卒業研究1	卒業研究2
		基礎造形実習1A 絵画表現基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3C 油彩入門＋ 現代アート入門 ＊領域共通科目	美術実習1-b 油彩画専門基礎1	美術実習3-b 油彩画専門基礎3	美術実習5-b 方法論の展開	美術実習7-b 主体的制作1		
		基礎造形実習2A 立体表現基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4C 日本画入門＋ 現代アート入門 ＊領域共通科目	美術実習2-b 油彩画専門基礎2	美術実習6-b 版画技法 (銅版画技法)	美術実習4-b 版画技法 (シルクスクリーン)	美術実習8-b 主体的制作2		
		美術基礎演習1 美術入門 ＊領域共通科目	美術基礎演習2 現代美術考察 ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習1 古美術研究 ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習3 美術の現場 ＊領域共通科目	美術演習7-b テーマの発見と 研究計画の立案	美術演習8-b 研究テーマと 研究計画の洗練		
芸 術 応 用 科 目 ／ 10 単 位		美術概論 美術入門		美術論1 近代日本画家研究	美術論2 近代以降の絵画を めぐる諸概念	美術論3 近代以降の芸術と 社会の変容	美術論4 現代アート概論 「彫刻」を キーワードに		
共 通 教 育 セ ン タ ー （ 学 部 共 通 ） 科 目	学 部 受 講 指 定 科 目	大学入門1	大学入門2	コミュニティ デザイン概論		領域授講推奨科目 ・特別講義3 ・現代美術論A ・現代美術論B ・絵画材料学			
		スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンダー ション実習A1	ファウンダー ション実習A3						
		ファウンダー ション実習A2	ファウンダー ション実習A4						
		ファウンダー ション実習B1	ファウンダー ション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
	選 択 受 講 指 定 科 目	東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

学修システム・カリキュラム

美術領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 美術領域 現代アートコース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程		
		1年		2年		3年		4年		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
学修システム・カリキュラム	美術領域	／必修科目 10単位 ↑ 専門科目／54単位 ↓ 領域指定科目／54単位						卒業研究1 卒業研究2		
		基礎造形実習1A 絵画表現基礎 ＊領域共通科目 基礎造形実習2A 立体表現基礎 ＊領域共通科目 美術基礎演習1 美術入門 ＊領域共通科目		基礎造形実習3C 油彩入門＋現代アート入門 ＊領域共通科目 基礎造形実習4C 日本画入門＋現代アート入門 ＊領域共通科目 美術基礎演習2 現代美術考察 ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞		美術実習1-c 立体表現 美術実習2-c 平面表現 美術演習1 古美術研究 ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞ 美術実習7-c 身体表現 美術実習4-c 場と表現 美術演習3 美術の現場 ＊領域共通科目 美術実習2-c 現代アート研究 美術演習4-c 社会と表現 美術演習5-c 自己と表現 美術実習3-c グループ展1 (素材研究) 美術実習8-c グループ展2 (自由表現) 美術演習7-c ポートフォリオ制作 美術演習8-c 分野横断的研究				
		美術概論 美術入門		美術論1 近代日本画家研究 美術論2 近代以降の絵画を めぐる諸概念		美術論3 近代以降の芸術と 社会の変容 美術論4 現代アート概論 「彫刻」を キーワードに				
		大学入門1 大学入門2 スタディ スキル実習1 スタディ スキル実習3 スタディ スキル実習2 スタディ スキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリア デザイン概論1 キャリア デザイン概論2		コミュニティ デザイン概論		領域授講推奨科目 ・特別講義3 ・現代美術論A ・現代美術論B ・絵画材料学				
		東洋・日本 美術史概説A 東洋・日本 美術史概説B 西洋 美術史概説A 西洋 美術史概説B デザイン史 概説A デザイン史 概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上						
				芸術応用科目 2科目4単位以上						
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上						
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上						

学修システム・カリキュラム

美術領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■情報デザインの特色・各課程での学びについて

「情報」と「デザイン」の視点から、新しいデザイン表現を創造し、社会をより魅力ある充実したものへ変えていくことができる力を身につける。グラフィックデザイン、情報デザイン、写真、映像分野の授業を共有することで横断的に学び、様々な情報メディアを用いてデザインの新しい地平を開拓していく。

情報デザインでは、以下の4コースを設定します。

- グラフィックデザインコース**：グラフィックデザインの世界を広く学び、ビジュアル表現を用いた情報伝達の方法を探求する。
- 写真コース**：写真を核に様々なメディアについて学び、自分だけのテーマによる表現を探求する。
- 映像コース**：多様な映像表現を学び、映像を通して社会に伝える力を探求する。
- 情報デザインコース**：ビジュアル表現と情報システムの両方を学び、人と社会の新しい関係を探求する。

●専門導入課程（1年生）

情報デザイン領域での造形活動の基礎力を身につける。（情報デザインにつながる発想力、知識、印刷、写真、映像・サウンドによる技法および表現）。本領域全コースの基礎を横断的に学ぶ。

●専門基盤課程（2～3年生）

各コースの専門分野の基礎技術及び基礎知識を修得し、独自の自己表現を追究するためのテーマの発展につなげる。また、制作活動を通じて技術力を向上させ、社会への発表活動を通して表現力を充実させる。複合させたメディアによる表現の可能性を広げて行くため、各コースが授業を共有する。

●専門研究課程（4年生）

各自の専門分野において4年間で身につけたことを生かし、表現者として総合的に研究・制作を行う。集大成として4年間の学修成果をまとめ上げる。

芸術学科 情報デザイン領域

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	受講指定	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習3A		2		実習	○				領域受講指定科目 イラストレーション／情報デザイン 空間デザイン領域開講		基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習1D		2		実習	○				領域受講指定科目 情報デザイン領域開講		
	基礎造形実習2D		2		実習	○				領域受講指定科目 情報デザイン領域開講	写真Cライセンス	
	基礎造形実習4D		2		実習	○				領域受講指定科目 情報デザイン領域開講	映像スタジオF	領域の基礎演習 4単位を修得すること
	情報デザイン基礎演習1		2		演習	○				領域共通科目		
	情報デザイン基礎演習2		2		演習	○				領域共通科目		
専門基盤科目	情報デザイン演習3		2		演習		○			領域共通科目		領域共通専門基盤科目 6単位を修得すること
	情報デザイン演習7		2		演習			○		領域共通科目		
	情報デザイン演習8		2		演習			○		領域共通科目		
	情報デザイン演習1-a		2		演習		○			写真コース科目		
	情報デザイン演習2-ab		2		演習		○			写真コース科目		
	情報デザイン演習4-a		2		演習		○			写真コース科目		
	情報デザイン演習5-a		2		演習			○		写真コース科目		
	情報デザイン演習6-ad		2		演習			○		写真コース科目		
	情報デザイン実習1-abd		2		実習		○			写真コース科目	写真B（限定有）・プロフォト	
	情報デザイン実習2-a		2		実習		○			写真コース科目		
	情報デザイン実習3-acd		2		実習		○			写真コース科目	映像スタジオ	
	情報デザイン実習4-abd		2		実習		○			写真コース科目		
	情報デザイン実習5-a		2		実習			○		写真コース科目	写真B（大型カメラ）	
	情報デザイン実習6-a		2		実習			○		写真コース科目		
	情報デザイン実習7-ac		2		実習			○		写真コース科目	映像サウンド機材C・映像サウンド機材B	
	情報デザイン実習8-abd		2		実習			○		写真コース科目		
	情報デザイン演習1-b		2		演習		○			グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン演習2-ab		2		演習		○			グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン演習4-bcd		2		演習		○			グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン演習5-b		2		演習			○		グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン演習6-b		2		演習			○		グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン実習1-abd		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目	写真B（限定有）・プロフォト	
	情報デザイン実習2-bc		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン実習3-b		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン実習4-abd		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン実習5-b		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン実習6-b		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン実習7-b		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン実習8-abd		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目		
	情報デザイン演習1-cd		2		演習		○			映像コース科目	映像サウンド機材C・映像サウンド機材B	各コースの専門基盤科目 26単位を修得すること
	情報デザイン演習2-c		2		演習		○			映像コース科目		
	情報デザイン演習4-bcd		2		演習		○			映像コース科目		
	情報デザイン演習5-cd		2		演習			○		映像コース科目		
	情報デザイン演習6-c		2		演習			○		映像コース科目		
	情報デザイン実習1-c		2		実習			○		映像コース科目 映像撮影機材B 映像サウンド機材C・映像サウンド機材B 映像照明機材B 写真B（撮影用品）・映像スタジオ		
	情報デザイン実習2-bc		2		実習			○		映像コース科目		
	情報デザイン実習3-acd		2		実習			○		映像コース科目	映像スタジオ	
	情報デザイン実習4-c		2		実習			○		映像コース科目	写真B（限定有）	
	情報デザイン実習5-cd		2		実習			○		映像コース科目		
	情報デザイン実習6-cd		2		実習			○		映像コース科目		
	情報デザイン実習7-ac		2		実習			○		映像コース科目	映像サウンド機材C・映像サウンド機材B	
	情報デザイン実習8-c		2		実習			○		映像コース科目		
	情報デザイン演習1-cd		2		演習		○			情報デザインコース	映像サウンド機材C・映像サウンド機材B	
	情報デザイン演習2-d		2		演習		○			情報デザインコース		
	情報デザイン演習4-bcd		2		演習		○			情報デザインコース		
	情報デザイン演習5-cd		2		演習			○		情報デザインコース		
	情報デザイン演習6-ad		2		演習			○		情報デザインコース		
	情報デザイン実習1-abd		2		実習			○		情報デザインコース	写真B（限定有）・プロフォト	
	情報デザイン実習2-d		2		実習			○		情報デザインコース		
	情報デザイン実習3-acd		2		実習			○		情報デザインコース	映像スタジオ	
	情報デザイン実習4-abd		2		実習			○		情報デザインコース		
	情報デザイン実習5-cd		2		実習			○		情報デザインコース		
	情報デザイン実習6-cd		2		実習			○		情報デザインコース		
	情報デザイン実習7-d		2		実習			○		情報デザインコース		
	情報デザイン実習8-abd		2		実習			○		情報デザインコース		
専門研究科目	卒業研究1	4			演習				○			領域の専門研究科目 10単位を修得すること
	卒業研究2	6			演習				○			
芸術応用科目	情報デザイン概論		2		講義	○						領域の芸術応用科目 10単位を修得すること
	情報デザイン論1		2		講義		○	○				
	情報デザイン論2		2		講義		○	○				
	情報デザイン論3		2		講義		○	○				
	情報デザイン論4		2		講義		○	○				

■ 芸術学科 情報デザイン領域 写真コース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期	後期	前期	後期	前期	後期
専 門 科 目 ／ 54 単 位	／必 修 単 位 10							卒業研究1 コンテンツ研究・ 制作・発表	卒業研究2 コンテンツ研究・ 制作・発表
		基礎造形実習1D 情報デザイン基礎	基礎造形実習2D 写真基礎	情報デザイン 実習1-abd 写真中級1 (CM写真含む)	情報デザイン 実習2-a 写真中級2 (プリント法含む)	情報デザイン 実習5-a 写真上級1	情報デザイン 実習6-a 写真上級2		
		基礎造形実習3A グラフィック デザイン基礎	基礎造形実習4D 映像基礎	情報デザイン 実習3-acd ネットワーク配信	情報デザイン 実習4-abd タイポグラフィ/組版基礎/ エディトリアル基礎	情報デザイン 実習7-ac ドキュメンタリー	情報デザイン 実習8-abd ソーシャルデザイン		
専 門 科 目 ／ 54 単 位	領域 指定 科目 ／ 54 単 位	情報デザイン 基礎演習1 写真・グラフィック デザイン基礎	情報デザイン 基礎演習2 情報デザイン・ 映像基礎	情報デザイン 演習2-ab 広告デザイン基礎	情報デザイン 演習1-a 写真表現研究	情報デザイン 演習3 3Dグラフィックス	情報デザイン 演習5-a 社会性自己研究		
				情報デザイン 演習4-a 写真作家研究	情報デザイン 演習8 Webデザイン1 (HTML・ポートフォリオサイトなど)	情報デザイン 演習7 Webデザイン2	情報デザイン 演習6-ad ARデザイン		
		情報デザイン 概論 情報デザイン入門		情報 デザイン論1 写真史	情報 デザイン論2 グラフィック デザイン史	情報 デザイン論3 情報デザイン史	情報 デザイン論4 映画史		
共 通 教 育 セ ン タ ー （ 学 部 共 通 ） 科 目	学 部 受 講 指 定 科 目	大学入門1	大学入門2	コミュニティ デザイン概論		領域授講推奨科目 ・メディアアート概論			
		スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
共 通 教 育 セ ン タ ー （ 学 部 共 通 ） 科 目	選 抜 受 講 指 定 科 目	ファウンデ ーション実習A1	ファウンデ ーション実習A3						
		ファウンデ ーション実習A2	ファウンデ ーション実習A4						
		ファウンデ ーション実習B1	ファウンデ ーション実習B2						
共 通 教 育 セ ン タ ー （ 学 部 共 通 ） 科 目	選 抜 受 講 指 定 科 目	キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
		東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
共 通 教 育 セ ン タ ー （ 学 部 共 通 ） 科 目	選 抜 受 講 指 定 科 目	デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						

■ 芸術学科 情報デザイン領域 グラフィックデザインコース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期	後期	前期	後期	前期	後期
専 門 科 目 ／ 54 単 位	／必 修 単 科 目 ↑ 領域指定科目／54単位 ↓							卒業研究1 コンテンツ研究・制作・発表	
								卒業研究2 コンテンツ研究・制作・発表	

領域授講推奨科目
・メディアアート概論

芸術基礎科目
4科目8単位以上

芸術応用科目 2科目4単位以上

地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上

キャリアデザイン科目 1科目2単位以上

■ 芸術学科 情報デザイン領域 映像コース スタンダードカリキュラム

専門導入課程				専門基盤課程				専門研究課程			
1年				2年		3年		4年			
前期または後期				前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専 門 科 目 ／ 54 単 位	／必 修 10 単 位 目 ↑ 領域指定科目／54単位 ↓	基礎造形実習1D 情報デザイン基礎		基礎造形実習2D 写真基礎		情報デザイン実習1-c カメラワークと映像機材		情報デザイン実習2-bc 動画広告		卒業研究1 コンテンツ研究・制作・発表	卒業研究2 コンテンツ研究・制作・発表
		基礎造形実習3A グラフィックデザイン基礎		基礎造形実習4D 映像基礎		情報デザイン実習3-acd ネットワーク配信		情報デザイン実習4-c 人形アニメーション			
		情報デザイン基礎演習1 写真・グラフィックデザイン基礎		情報デザイン基礎演習2 情報デザイン・映像基礎		情報デザイン演習1-cd サウンドデザイン		情報デザイン演習2-c 映像作家研究			
専 門 科 目 ／ 54 単 位	／必 修 10 単 位 目 ↑ 領域指定科目／54単位 ↓	情報デザイン基礎演習3 3Dグラフィックス		情報デザイン演習5-cd アプリケーション制作		情報デザイン演習7 Webデザイン2		情報デザイン演習6-c 映像社会学			
		情報デザイン演習4-bcd 映像編集 (After Effects)		情報デザイン演習8 Webデザイン1 (HTML、ポートフォリオサイトなど)							
		情報デザイン演習7 Webデザイン2		情報デザイン演習6-c 映像社会学							
芸術応用科目 ／10単位		情報デザイン概論 情報デザイン入門		情報デザイン論3 情報デザイン史	情報デザイン論4 映画史	情報デザイン論1 写真史	情報デザイン論2 グラフィックデザイン史				
共 通 教 育 セ ン タ ー （ 学 部 共 通 ） 科 目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論		領域授講推奨科目 ・メディアアート概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3								
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4								
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3								
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4								
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2								
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2								
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A		東洋・日本美術史概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A		西洋美術史概説B							
		デザイン史概説A		デザイン史概説B							
芸術応用科目 2科目4単位以上											
地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上											
キャリアデザイン科目 1科目2単位以上											

学修システム・カリキュラム

情報デザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

芸術学科 情報デザイン領域 情報デザインコース スタandardカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期	後期	前期	後期	前期	後期
学修システム・カリキュラム	／10単位 必 修 科 目							卒業研究1 コンテンツ研究・制作・発表	
		基礎造形実習1D 情報デザイン基礎	基礎造形実習2D 写真基礎	情報デザイン実習1-abd 写真中級1 (CM写真含む)	情報デザイン実習2-d UI/UXデザイン-1	情報デザイン実習6-cd インスタレーション	情報デザイン実習5-cd エクスペリメンタルデザイン	卒業研究2 コンテンツ研究・制作・発表	
		基礎造形実習3A グラフィックデザイン基礎	基礎造形実習4D 映像基礎	情報デザイン実習3-acd ネットワーク配信	情報デザイン実習4-abd タイポグラフィ/組版基礎/エディトリアル基礎	情報デザイン実習7-d UI/UXデザイン-2	情報デザイン実習8-abd ソーシャルデザイン		
		情報デザイン基礎演習1 写真・グラフィックデザイン基礎	情報デザイン基礎演習2 情報デザイン・映像基礎	情報デザイン演習1-cd サウンドデザイン	情報デザイン演習2-d プログラミング・ジェネレイティブデザイン	情報デザイン演習3 3Dグラフィックス	情報デザイン演習5-cd アプリケーション制作		
情報デザイン領域	専門科目／54単位 領域指定科目／54単位			情報デザイン演習4-bcd 映像編集 (After Effects)	情報デザイン演習8 Webデザイン1 (HTML, ポートフォリオサイトなど)	情報デザイン演習7 Webデザイン2	情報デザイン演習6-ad ARデザイン		
				情報デザイン概論 情報デザイン入門	情報デザイン論3 情報デザイン史	情報デザイン論1 写真史	情報デザイン論2 グラフィックデザイン史		
				大学入門1	大学入門2	領域授講推奨科目 ・メディアアート概論			
				スタディスキル実習1	スタディスキル実習3				
共通教育センター科目	学部受講指定科目 芸術応用科目／10単位			スタディスキル実習2	スタディスキル実習4				
				ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3				
				ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4				
				ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2				
学芸員課程科目	共通教育センター（学部共通）科目 選択受講指定科目			キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2				
				東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B				
				西洋美術史概説A	西洋美術史概説B				
				デザイン史概説A	デザイン史概説B				
教職課程科目				芸術基礎科目 4科目8単位以上					
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

■空間デザイン領域の特色・各課程での学びについて

空間デザイン領域が対象とする分野は、雑貨・衣服・テキスタイル・機器・家具・住宅など私たちの生活を取り巻くあらゆるものにおよんでいます。ここでは、生活の基本要素である「衣」・「モノ」・「住」をキーワードに、素材と向き合い、ものごとやしくみを形に表現する力を養い、さらには社会に対する多様な価値を提案できる能力を育みます。公共空間やショップ、ブランディング、身体表現、素材づくりからインスタレーションまで、空間を創造し表現するための分野を横断的に学ぶことができます。

●専門導入課程（1年生）

1年次では立体・素材・人体を中心に発想や造形など、2年次以降それぞれの専門を学ぶために必要な共通の基礎を学びます。あらゆるものごとに対する好奇心を大切に、発見から発想につなげることのできる能力を養います。

●専門基盤課程（2～3年生）

2～3年次では専門の知識や技能を習得し、独自の考え方と視点を獲得します。また社会と自分を深く見つめることで問題や制作に向きあう姿勢を身につけ、4年次での自律的な研究過程に備えます。

●専門研究課程（4年生）

4年次では、自らの進路を見すえて自律的に研究を行い、社会に対して具体的な提案を行います。自ら企画して行動に起こし成し遂げる力を身に付け、世の中で必要とされる人材をめざします。

芸術学科 空間デザイン領域

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習4A		2		実習	○				領域受講指定科目 空間デザイン領域開講		基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習1E		2		実習	○				領域受講指定科目 空間デザイン領域開講		
	基礎造形実習2E ※		2		実習	○				領域受講指定科目 空間デザイン領域開講		
	基礎造形実習3E ※		2		実習	○				領域受講指定科目 空間デザイン領域開講		
	空間デザイン基礎演習1		2		演習	○				領域共通科目		領域の基礎演習 4単位を修得すること
	空間デザイン基礎演習2		2		演習	○				領域共通科目		
専門基盤科目	空間デザイン演習5		2		演習			○		領域共通科目		領域共通および 各コースの専門基盤科目 32単位を修得すること
	空間デザイン演習7		2		演習			○		領域共通科目		
	空間デザイン演習1-a		2		演習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習2-a		2		演習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習3-a		2		演習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習4-a		2		演習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習6-a		2		演習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習8-a		2		演習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習1-a		2		実習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習2-ab		2		実習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習3-a		2		実習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習4-ab		2		実習	○				住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習5-a		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習6-ab		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習7-a		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習8-a		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習1-b		2		演習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習2-b		2		演習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習3-b		2		演習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習4-b		2		演習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習6-b		2		演習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習8-b		2		演習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習1-b		2		実習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習2-ab		2		実習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習3-b		2		実習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習4-ab		2		実習	○				プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習5-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習6-ab		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習7-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習8-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習1-c		2		演習	○				コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習2-c		2		演習	○				コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習3-c		2		演習	○				コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習4-c		2		演習	○				コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習6-c		2		演習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習8-c		2		演習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習1-c		2		実習	○				コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習2-c		2		実習	○				コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習3-c		2		実習	○				コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習4-c		2		実習	○				コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習5-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習6-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習7-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習8-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
科研専門	卒業研究1	4			演習				○			領域の専門分野を選択して10単位を修得すること
	卒業研究2	6			演習				○			
芸術応用科目	空間デザイン概論		2		講義	○						空間デザイン概論、 空間デザイン論1を 修得すること
	空間デザイン論1		2		講義		○					
	空間デザイン論2A		2		講義	○	○					
	空間デザイン論2B		2		講義	○	○					空間デザイン論2A～2F より3科目6単位を修得 すること
	空間デザイン論2C		2		講義	○	○					
	空間デザイン論2D		2		講義	○	○					
	空間デザイン論2E		2		講義	○	○					
	空間デザイン論2F		2		講義		○	○				

※令和元(2019)年度より基礎造形実習2A・3Aは基礎造形実習2E・3Eに名称変更しています。

■ 芸術学科 空間デザイン領域 住環境デザインコース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年	3年		4年		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専 門 科 目 ／ 54 単 位	／必 修 科 目 10 単 位							卒業研究1	卒業研究2
		基礎造形実習1E 布の立体造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習3E 脚のある造形／ ワンボード ＊領域共通科目	空間デザイン 実習1-a 小公園 フォーリー	空間デザイン 実習3-a ギャラリー・ レストラン・ホール	空間デザイン 実習5-a 子供のための空間/ 高齢者のための空間	空間デザイン 実習7-a 住宅の計画～ 非日常／多世代		
		基礎造形実習2E 群造形(柱・壁・床) ＊領域共通科目	基礎造形実習4A 織・染・バスケットリー・ 空間表現 ＊領域共通科目	空間デザイン 実習2-ab 照明器具と 店舗什器	空間デザイン 実習4-ab ディスプレイ/ ショップ	空間デザイン 実習6-ab 家具制作	空間デザイン 実習8-a 図書館/ リノベーション		
／応 用 科 目 10 単 位	領域指定科目／54 単位	空間デザイン 基礎演習1 発想法と リサーチマッピング ＊領域共通科目	空間デザイン 基礎演習2 断面図法と 空間フローイング ＊領域共通科目	空間デザイン 演習1-a ヨシの造形	空間デザイン 演習3-a CAD	空間デザイン 演習5 ブランド プロデュース	空間デザイン 演習7 ショップ プロデュース		
				空間デザイン 演習2-a 模型・製図	空間デザイン 演習4-a 3Dモデリング	空間デザイン 演習6-a 建築製図・CG	空間デザイン 演習8-a ポートフォリオ		
		空間デザイン概論 空間デザイン入門		空間デザイン論1 マーケティング論	空間デザイン論2A 服飾芸術論 選択	空間デザイン論2C ユーザー インタフェース論 選択	空間デザイン論2D 現代建築家論 選択		
				空間デザイン論2B 空間表現論 選択	空間デザイン論2E 生産技術論 選択	空間デザイン論2F インテリアデザイン史 選択			
共 通 教 育 セ ン タ ー (学 部 共 通) 科 目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティ デザイン概論					
		スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンデ ーション実習A1	ファウンデ ーション実習A3						
		ファウンデ ーション実習A2	ファウンデ ーション実習A4						
		ファウンデ ーション実習B1	ファウンデ ーション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
						芸術応用科目 2科目4単位以上			
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

芸術学科 空間デザイン領域 プロダクトデザインコース スタンダードカリキュラム

専門導入課程				専門基盤課程				専門研究課程					
1年				2年		3年		4年					
前期		後期		前期		後期		前期		後期			
必修 10単位									卒業研究1		卒業研究2		
	基礎造形実習1E 布の立体造形 ＊領域共通科目		基礎造形実習3E 脚のある造形／ ワンボード ＊領域共通科目		空間デザイン 実習1-b PD基礎～ 平面レイアウト・見立て・機構		空間デザイン 実習3-b 商品企画 ウェブショップ～ 雑貨、アクセサリー		空間デザイン 実習5-b 生活機器 [知識・気づき]の デザイン		空間デザイン 実習7-b パブリックデザイン		
	基礎造形実習2E 群造形(柱・壁・床) ＊領域共通科目		基礎造形実習4A 織・染・バスケットリー・ 空間表現 ＊領域共通科目		空間デザイン 実習2-ab 照明器具と 店舗什器		空間デザイン 実習4-ab ディスプレイ／ ショップ		空間デザイン 実習6-ab 家具制作		空間デザイン 実習8-b リサーチ&デザイン ユニバーサルデザイン		
専門科目 54単位	空間デザイン 基礎演習1 発想法と リサーチマッピング ＊領域共通科目		空間デザイン 基礎演習2 断面図法と 空間ドローイング ＊領域共通科目		空間デザイン 演習1-b スケッチ& モデリング		空間デザイン 演習3-b 椅子実測図面		空間デザイン 演習5 ブランド プロデュース		空間デザイン 演習7 ショップ プロデュース		
					空間デザイン 演習2-b 図面基礎・ CAD・3D		空間デザイン 演習4-b プロトタイプング		空間デザイン 演習6-b 先端技術 ワークショップ		空間デザイン 演習8-b ユーザー インタフェース		
	空間デザイン概論 空間デザイン入門				空間デザイン論1 マーケティング論		空間デザイン論2A 服飾芸術論 選択		空間デザイン論2C ユーザー インタフェース論		空間デザイン論2D 現代建築家論 選択		
応用 10単位					空間デザイン論2B 空間表現論 選択		空間デザイン論2E 生産技術論		空間デザイン論2F インテリアデザイン史 選択		1科目2単位 選択履修		
	大学入門1		大学入門2		コミュニティ デザイン概論								
	スタディ スキル実習1		スタディ スキル実習3										
学部受講指定科目	スタディ スキル実習2		スタディ スキル実習4										
	ファウンダー ション実習A1		ファウンダー ション実習A3										
	ファウンダー ション実習A2		ファウンダー ション実習A4										
	ファウンダー ション実習B1		ファウンダー ション実習B2										
	キャリア デザイン概論1		キャリア デザイン概論2										
	東洋・日本 美術史概説A		東洋・日本 美術史概説B		芸術基礎科目 4科目8単位以上								
	西洋 美術史概説A		西洋 美術史概説B										
	デザイン史 概説A		デザイン史 概説B										
	選択受講指定科目												

■ 芸術学科 空間デザイン領域 コスチュームデザインコース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専 門 科 目 ／ 54 単 位	／必 修 科 目 10 単 位							卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目 ／ 54 単 位	基礎造形実習1E 布の立体造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習3E 脚のある造形／ ワンボード ＊領域共通科目	空間デザイン 実習1-c 服飾造形基礎1～ パターンと立体裁断	空間デザイン 実習3-c 服飾造形基礎2～ オリジナルコスチューム	空間デザイン 実習5-c 服飾造形表現1～ コスチュームアート	空間デザイン 実習7-c オリジナルコスチューム～ トータルプロデュース		
		基礎造形実習2E 群造形(柱・壁・床) ＊領域共通科目	基礎造形実習4A 織・染・バスケットリー・ 空間表現 ＊領域共通科目	空間デザイン 実習2-c 染織造形基礎1～ 染・シルクスクリーン	空間デザイン 実習4-c 染織造形基礎2～ 織	空間デザイン 実習6-c 服飾造形表現2～ 素材からの発想	空間デザイン 実習8-c オリジナルコスチューム～ 実作・展開		
／応 用 科 目 10 単 位		空間デザイン 基礎演習1 発想法と リサーチマッピング ＊領域共通科目	空間デザイン 基礎演習2 断面図法と 空間フローイング ＊領域共通科目	空間デザイン 演習1-c 染色実験	空間デザイン 演習3-c 服飾造形演習 パターンと立体裁断	空間デザイン 演習5 ブランド プロデュース	空間デザイン 演習7 ショップ プロデュース		
				空間デザイン 演習2-c 服飾芸術演習1～ デザイン画と立体造形	空間デザイン 演習4-c 服飾芸術演習2～ オリジナルシャツ	空間デザイン 演習6-c 舞台芸術演習	空間デザイン 演習8-c 服飾課題研究		
		空間デザイン概論 空間デザイン入門		空間デザイン論1 マーケティング論	空間 デザイン論2A 服飾芸術論	空間 デザイン論2C ユーザー インタフェース論	空間 デザイン論2D 現代建築家論	選択 1科目2単位 選択履修	
					空間 デザイン論2B 空間表現論	空間 デザイン論2E 生産技術論	空間 デザイン論2F インテリアデザイン史		
共 通 教 育 セ ン タ ー (学 部 共 通) 科 目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティ デザイン概論					
		スタディ スキル実習1	スタディ スキル実習3						
		スタディ スキル実習2	スタディ スキル実習4						
		ファウンダー ション実習A1	ファウンダー ション実習A3						
		ファウンダー ション実習A2	ファウンダー ション実習A4						
		ファウンダー ション実習B1	ファウンダー ション実習B2						
		キャリア デザイン概論1	キャリア デザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本 美術史概説A	東洋・日本 美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋 美術史概説A	西洋 美術史概説B						
		デザイン史 概説A	デザイン史 概説B						
				芸術応用科目 2科目4単位以上					
				地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上					
				キャリアデザイン科目 1科目2単位以上					

地域実践領域

■地域実践領域の特色・各課程での学びについて

この領域では、地域というフィールドを最大限に活かし、アクティブに活動し、楽しみながら現代の地域、社会を捉え、PBL（実践に基づく学習）を通じる能力開発によって、クリエイティブな感性や発想力を獲得する。同時に、地域で活躍する招聘教員や、キャリアサポート担当教員の力を借りて、自分の仕事や人生について能動的に考え、自己の資質を向上させ、社会的職業的な自立を目指すために必要な能力を育成する。

学びを通じて獲得する能力と態度

- ・ フィールドで学ぶ実践力
- ・ 広く長い視野と着実な行動力
- ・ 多様なものに向き合うことによる創造力
- ・ フィールド実践に鍛えられた協調性
- ・ 自己の世界観に支えられた生きる力

●専門導入課程（1年生）

- (1) 自己の外部にある自然や社会と関わりを通じて、人間および芸術、科学、文化が進化してきたことを理解し、外部世界と関わりながら自己の世界観を練り上げる態度を身につける。
- (2) 地域で多様な活動をしている人々に接し、その活動およびそれを支えている生き方について学び、自らの社会に関わる生き方を考える力を身につける。

●専門基盤課程（2～3年生）

- (3) 地域を総体として理解し、地域に能動的に関わるために、システム思考法を身につけ、地域に関わる多様なデータを読み取り、それに基づいたアクション・プラン、ビジネス・プランをデザインする能力を身につける。
- (4) 経済、社会、環境の繋がりがますます緊密化している中で、サステナビリティについて考え、サステナビリティに向かう、資源利用（環境との関わり）、人間関係（社会との関わり）およびアクションの経済的持続性（経済との関わり）を統合したアクションやビジネスのデザインができる力を身につける。
- (5) アクション・プラン^{※1}、ビジネス・プラン^{※2}を他のステークホルダーと協調して実行できる資質を、実践的に身につける。

●専門研究課程（4年生）

- (6) 自らアクション・プラン、ビジネス・プランをデザインするとともに、それを実践するために説得的に表現できる力を身につける。
- (7) 自らデザインしたアクション・プラン、ビジネス・プランを他者とのダイアログ（対話）を通じて、さらに具体的、説得的なものに磨き上げる内省力を身につける。

※1 アクション・プラン＝プロジェクトなどの事おこしの実施計画

※2 ビジネス・プラン＝実施計画に基づいたプロジェクト全体の予算や人事等の運営計画

芸術学科 地域実践領域

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	地域実践入門1		2		演習	○						領域の専門導入科目 12単位を修得すること
	地域実践入門2		2		演習	○						
	地域実践基礎演習1		2		演習	○						
	地域実践基礎演習2		2		演習	○						
	地域実践基礎演習3		2		演習	○						
	地域実践基礎演習4		2		演習	○						
専門基盤科目	地域実践学1		2		演習		○					領域の専門基盤科目 32単位を修得すること
	地域実践学2		2		演習		○					
	地域実践学3		2		演習			○				
	地域実践学4		2		演習			○				
	地域実践演習1		2		演習		○					
	地域実践演習2		2		演習		○					
	地域実践演習3		2		演習		○					
	地域実践演習4		2		演習		○					
	地域実践演習5		2		演習			○				
	地域実践演習6		2		演習			○				
	地域実践演習7		2		演習			○				
	地域実践演習8		2		演習			○				
	地域実践プロジェクト演習1		2		演習		○					
	地域実践プロジェクト演習2		2		演習		○					
	地域実践プロジェクト演習3		2		演習			○				
	地域実践プロジェクト演習4		2		演習			○				
専門研究科目	卒業研究1	4			演習				○			領域の専門研究科目 10単位を修得すること
	卒業研究2	6			演習				○			
芸術応用科目	地域実践概論		2		講義	○						領域の芸術応用科目 2単位及び 他領域が受講指定する 芸術応用科目から 8単位を修得すること
	領域別理論科目		2		講義		○					
	領域別理論科目		2		講義		○					
	領域別理論科目		2		講義			○				
	領域別理論科目		2		講義			○				

学修システム・カリキュラム

地域実践領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■ 芸術学科 地域実践領域 クリエイティブ・スタディーズコース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	／必修科目 10単位							卒業研究1卒業研究2	
		地域実践学入門1 自己と世界	地域実践学入門2 地域の観察	地域実践学1 地域をデータによって理解する	地域実践学2 地域をシステムとして理解する	地域実践学3 地域の課題を発見し、解決に向かうアイデアを提案する	地域実践学4 本当の豊かさとは何かを考え新しいライフデザインを提案する		
		地域実践基礎演習1 地域(農村)を知るフィールドワーク1	地域実践基礎演習3 地域(近江)を知るフィールドワーク3	地域実践演習1 地域の素材でつくる1	地域実践演習3 地域(びわ湖)の素材でつくる3	地域実践演習5 地域実践プロジェクト事前指導	地域実践演習7 地域実践プロジェクト実践		
		地域実践基礎演習2 地域(都市)を知るフィールドワーク2	地域実践基礎演習4 地域(近江)を知るフィールドワーク4	地域実践演習2 地域の素材でつくる2	地域実践演習4 地域の素材でつくる4(サステイナブルデザイン)	地域実践演習6 地域実践プロジェクト実践	地域実践演習8 地域実践プロジェクト事後指導		
芸術応用科目 10単位	領域指定科目／54単位	地域実践概論		領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目		
				地域実践プロジェクト演習1～4					
共通教育センター(学部共通)科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4						
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
選択受講指定科目		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B3						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
		東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B						
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						

共通教育センター科目（学部共通科目）

■共通教育センター科目（学部共通科目）

共通教育センター科目（学部共通科目）とは、基礎科目群、応用科目群、社会実践科目群、教養科目群から構成され共通教育センター所属の教員がこの科目群をバックアップしています。

①基礎科目群

芸術大学に進学した学生が等しく身につけるべき知識や技能を修得するために1年生全員が学ぶ科目で以下の科目で構成されます。

スタートプログラム科目……4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎学力を身につけるための科目です。
芸術基礎科目……芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支えるための科目です。
ファウンデーション科目……所属する領域に関係なく複数クラスに編成して、専門分野の枠を超えた教員組織の指導のもと、美術経験の多少にかかわらず、表現することの面白さを体感することを通して芸術学部共通の造形基礎を学ぶ科目です。「描く」「つくる」「発想する」の3つの基本的なテーマに沿って、実技、講義、ワークショップ、発表、合評などで授業を構成し、表現課程での工夫や発見を通して、視野を広げていく楽しさと柔軟な思考を養う「ファウンデーション実習A」やコンピュータの基礎を学ぶ「ファウンデーション実習B」があります。

②応用科目群

広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を養うために必要不可欠な科目群です。

③社会実践科目群

「芸術による社会への貢献」を実践する科目群で自分の将来の姿を実現に近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会貢献を実現するプロジェクトを単位化する地域貢献・プロジェクト科目があります。

④教養科目群

各学生の専門や志向に有益な学問領域について自主的に学ぶことができる科目群で、教養科目、外国語科目、単位互換事業科目で構成されます。

共通教育センター科目（学部共通科目） 全学適用

科目一覧		学 芸 員	教 職	単 位 数			形 授 業 態	配当学年 (望ましい履修学年)				特 記 事 項
				必修	指定科目	選択		1年	2年	3年	4年	
基礎科目群	ファウンデーション科目	ファウンデーション実習A1				1	実習	○				1 年次に 6 科目 6 単位以上を受講すること ※ファウンデーション実習C1などを受講すると 6 単位以上になります。
		ファウンデーション実習A2				1	実習	○				
		ファウンデーション実習A3				1	実習	○				
		ファウンデーション実習A4				1	実習	○				
		ファウンデーション実習B1	選択			1	実習	○				
		ファウンデーション実習B2	選択			1	実習	○				
		ファウンデーション実習B3	選択			1	実習	○				
		ファウンデーション実習C1				1	実習	○				
		ファウンデーション実習C2				1	実習	○				
	スタートプログラム科目	プレファウンデーション実習1				1	実習	○				1 年次に 6 科目 6 単位を受講すること ※6 単位以上の受講はありません。
		プレファウンデーション実習2				1	実習	○				
		大学入門1				1	演習	○				
		大学入門2				1	演習	○				
		スタディスキル実習1				1	実習	○				
	芸術基礎科目	スタディスキル実習2				1	実習	○				1 年次に 4 科目 8 単位以上を修得すること
		スタディスキル実習3				1	実習	○				
		スタディスキル実習4				1	実習	○				
		東洋・日本美術史概説A	選択	必修		2	講義	○				
		東洋・日本美術史概説B	選択	選択		2	講義	○				
		西洋美術史概説A	選択	必修		2	講義	○				
		西洋美術史概説B	選択	選択		2	講義	○				
		デザイン史概説A	選択	選択		2	講義	○				
		デザイン史概説B	選択	選択		2	講義	○				
	芸術応用科目	総合デザイン概論				2	講義	○	○			①所属する領域が指定する理論科目を 5 科目 10 単位以上修得すること 総合領域及び地域実践領域学生は、各自の学びの流れに従って領域が指定する理論科目 1 科目 2 単位と他領域の理論科目を 4 科目 8 単位以上修得すること ② ①以外の科目を 2 科目 4 単位以上修得すること
		イラストレーション概論				2	講義	○	○			
		イラストレーション論1				2	講義		○			
		イラストレーション論2				2	講義		○			
		イラストレーション論3				2	講義			○		
		イラストレーション論4				2	講義			○		
		美術概論				2	講義	○	○			
		美術論1				2	講義		○			
		美術論2				2	講義		○			
		美術論3				2	講義			○		
		美術論4				2	講義			○		
		情報デザイン概論				2	講義	○	○			
		情報デザイン論1				2	講義		○	○		
		情報デザイン論2				2	講義		○	○		
		情報デザイン論3				2	講義		○	○		
		情報デザイン論4				2	講義		○	○		
		空間デザイン概論				2	講義	○	○			
		空間デザイン論1				2	講義		○	○		
		空間デザイン論2A				2	講義		○	○		
		空間デザイン論2B ※				2	講義		○	○		
		空間デザイン論2C				2	講義		○	○		
		空間デザイン論2D				2	講義		○	○		
		空間デザイン論2E ※				2	講義		○	○		
		空間デザイン論2F ※				2	講義		○	○		
		地域実践概論				2	講義	○	○			
		現代デザイン論A				2	講義		○	○		
		現代デザイン論B				2	講義		○	○		
		美術理論		必修		2	講義		○	○		
		現代美術論A		選択		2	講義		○	○		
		現代美術論B ※		選択		2	講義		○	○		
		絵画材料学				2	講義		○	○		
		メディアアート概論				2	講義		○	○		
		日本美術史A		選択		2	講義		○	○	○	
		日本美術史B ※		選択		2	講義		○	○	○	
		西洋美術史A		選択		2	講義		○	○	○	
		西洋美術史B		選択		2	講義		○	○	○	
		日本建築史				2	講義		○	○	○	
		西洋建築史 ※				2	講義		○	○	○	
		工芸史 ※	選択			2	講義		○	○	○	
		図法演習				2	演習		○	○	○	
		色彩演習				2	演習		○	○		
		人体表現演習				2	演習			○		
		彫刻演習		選択		2	演習		○	○		
		工芸演習		選択		2	演習		○	○		
		絵画演習		選択		2	演習		○	○		
		デザイン演習		選択		2	演習		○	○		
		舞台美術演習				2	演習	○	○	○	○	
		芸術鑑賞A ※				2	講義	○	○	○	○	
		芸術鑑賞B				2	講義	○	○	○	○	
		特別講義1				1	講義		○	○	○	
		特別講義2				1	講義		○	○	○	
		特別講義3				1	講義		○	○		
		特別講義4				1	講義	○	○	○	○	
		特別講義5				1	講義	○	○	○	○	
		特別講義6 ※				1	講義	○	○	○	○	
		美術科教育法1		必修		2	講義		○			
		美術科教育法2		必修		2	講義			○		
		美術科教育法3		必修		2	講義				○	
		美術科教育法4		必修		2	講義				○	

科目一覧		学 芸 員	教 職	単 位 数			形 態	授 業	配当学年 (望ましい履修学年)				特記事項
				必修	指定科目	選択			1年	2年	3年	4年	
選択科目群	教養科目	自然科学概論A ※				2	講義		○	○	○	○	
		自然科学概論B ※				2	講義		○	○	○	○	
		自然科学概論C				2	講義		○	○	○	○	
		自然科学概論D				2	講義		○	○	○	○	
		社会学A				2	講義		○	○	○	○	
		社会学B ※				2	講義		○	○	○	○	
		現代社会論A				2	講義		○	○	○	○	
		現代社会論B ※				2	講義		○	○	○	○	
		法学（日本国憲法）		必修		2	講義	○	○	○	○	○	
		人権教育		必修		2	講義		○	○	○	○	
		哲学A				2	講義	○	○	○	○	○	
		哲学B				2	講義	○	○	○	○	○	
		宗教学A				2	講義	○	○	○	○	○	
		宗教学B				2	講義	○	○	○	○	○	
		文化人類学A	選択			2	講義		○	○	○	○	
		文化人類学B ※	選択			2	講義		○	○	○	○	
		文化史A	選択			2	講義		○	○	○	○	
		文化史B ※	選択			2	講義		○	○	○	○	
		心理学A				2	講義	○	○	○	○	○	
		心理学B				2	講義	○	○	○	○	○	
		深層芸術心理学A ※				2	講義		○	○			
		深層芸術心理学B				2	講義		○	○	○		
		考古学A	選択			2	講義	○	○	○	○	○	
		考古学B ※	選択			2	講義	○	○	○	○	○	
		美学A				2	講義		○	○	○	○	
		美学B ※				2	講義		○	○	○	○	
		人間関係実習A				1	実習	○	○	○	○	○	
		人間関係実習B				1	実習	○	○	○	○	○	
		健康体力論		選択		2	講義	○	○	○	○	○	
		スポーツ実習A		選択		1	実習	○	○	○	○	○	
		スポーツ実習B		選択		1	実習	○	○	○	○	○	
		スポーツ実習C		選択		1	実習	○	○	○	○	○	
		スポーツ実習D		選択		1	実習	○	○	○	○	○	
		スポーツ実習E ※		選択		1	実習	○	○	○	○	○	
	外国語科目	英語入門Ⅰ				1	実習	○	○				
		英語入門Ⅱ				1	実習	○	○				
		英語A		選択		1	実習	○	○	○	○		
		英語B		選択		1	実習	○	○	○	○		
		英語C		選択		1	実習	○	○	○	○		
		英語D		選択		1	実習	○	○	○	○		
		英語E		選択		1	実習	○	○	○	○		
		英語F		選択		1	実習	○	○	○	○		
		英語G		選択		1	実習	○	○	○	○		
		英会話A		選択		1	実習	○	○	○	○		
		英会話B		選択		1	実習	○	○	○	○		
		英会話C		選択		1	実習	○	○	○	○		
		英会話D		選択		1	実習	○	○	○	○		
		英会話E		選択		1	実習	○	○	○	○		
	地域貢献・プロジェクト科目	日本語A				1	実習	○					
		日本語B				1	実習	○					
		日本語C				1	実習		○				
		日本語D				1	実習		○				
		コミュニティデザイン概論			2		講義		○				
		コミュニティデザイン論1 ※				2	講義		○	○	○	○	
		コミュニティデザイン論2				2	講義		○	○	○	○	
		琵琶湖の民俗史	選択			2	講義	○	○	○	○	○	
		近江学A				2	講義	○	○	○	○	○	
		近江学B ※				2	講義	○	○	○	○	○	
		エコロジーと社会				2	講義		○	○	○	○	
		プロジェクト演習A1～D1				2	演習	○					
		プロジェクト演習A2～D2				2	演習		○				
		プロジェクト演習E1				2	演習			○			
社会実践科目群	キャリアデザイン科目	キャリアデザイン概論1			1		講義	○					① 1年次にキャリアデザイン概論1及び2を受講すること ② ①以外の科目を1科目2単位以上修得すること ①と②で合計4単位以上を修得すること
		キャリアデザイン概論2			1		講義	○					
		キャリアデザイン特論A				2	講義		○	○			
		キャリアデザイン特論B				2	講義		○	○			
		キャリアデザイン演習A1				1	演習		○				
		キャリアデザイン演習A2				1	演習		○				
		キャリアデザイン演習B				2	演習			○			
		キャリアデザイン演習C				2	演習				○		
		社会人基礎力研究				1	講義		○				
		キャリア実践演習A				2	演習		○	○			
		キャリア実践演習B				2	演習			○			
		コンピュータ実践講座A				1	実習	○	○	○	○	○	
		コンピュータ実践講座B				1	実習	○	○	○	○	○	
		英語実践講座A				1	実習	○	○	○	○	○	
		英語実践講座B				1	実習	○	○	○	○	○	
		英語実践講座C				1	実習	○	○	○	○	○	
		日本語実践講座A				2	実習	○	○	○	○	○	こちらの科目については試験資格、検定等の単位認定の科目となります。 詳細は教学課まで問い合わせてください。
		日本語実践講座B				2	実習	○	○	○	○	○	
		色彩実践講座A				1	実習	○	○	○	○	○	
		色彩実践講座B				1	実習	○	○	○	○	○	

※が付いている科目は、2025年度の開講はありません。

プロジェクト演習について

1. 本学におけるプロジェクト科目の位置づけ

「芸術による社会への貢献」を教育理念とする本学では、地域貢献活動を具現化するため「結ぶ、つなげる、広げる」をテーマに、「学生・教員の教育、研究に貢献」・「連携先の社会活動に貢献」・「大学を含む地域社会全体に貢献」の3つの貢献を包括する事業をプロジェクトとして展開しています。社会実践科目群として、学外の自治体・企業・団体と継続的に連携するプロジェクトや、大学が地域と連携して貢献活動を推進するプロジェクトなどがあり、在学中から社会実践力を身につけるのに非常に有効な学びになります。

2. 学修方法

プロジェクト演習の到達目標は、さまざまな知識・スキルの習得やその応用力育成にとどまりません。PBL(Project Based Learning)を基本とし、それまでに獲得した力を実社会との連携の中でどのように活かしてゆけるかを、学生自らが確認し、最終的に自分の次なる目標を見出すことを主眼としています。

また、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)の(1)実践力、(2)創造力、(3)課題解決力、(4)協働力、(5)主体的行動力の育成を目指し、PDCAサイクルを体得しながら下記の流れに沿って取り組みます。

①PLAN: 背景理解とアクションプラン

- 1) 現代社会の諸相(SDGsなど)との関連性の理解
- 2) 社会やコミュニティの状況課題(多様で複雑な社会課題)の的確な把握と分析
目的意識(何のために何をするのか?そこから何を学ぶか?)・可能性の掘り起こし、課題発見、整理分析による気づきを得る
- 3) アートやデザインによる解決の糸口を模索
課題解決に向けた企画や工程表などを計画立案(プロジェクトマネジメント)

②DO: 社会実践

- 1) プロジェクトの中での自分の役割を自覚しながら工夫し取り組む(何をどう解決に向けて動いたか)
- 2) クリエイティブスキルを十分に発揮し、社会やコミュニティとの協働、共創を実践する

③CHECK: リフレクション(成果)

- 1) 自己評価(今回の伸長: 失敗から学ぶことも含め、何をすることができたか)
- 2) 外部評価/社会やコミュニティからの評価(社会に近いプロジェクト演習ならではの)
- 3) 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)との連動の確認

④ACTION: プロジェクトの発展・継続や、未来社会に向けての提言(効果の普遍化と波及)

- 1) 今後、自分が社会に対しどんな関与ができるのかを見出す
- 2) 社会やコミュニティが継続的・発展的に推移できる提言する

3. 学修における目標・成果・評価の可視化

各プロジェクト演習には、経験度(履修回数)に応じた学修目標・評価基準(ルーブリック)があります。

この評価基準は、全プロジェクト演習共通の「評価基準」をもとに、科目ごとの環境や状況に合わせた学修目標の観点・比重が設定され、途中経過や事後に到達度がフィードバックされます。これらが可視化されることにより、学生自らが次なる目標を立てることができます。

4. 履修の順次性と科目構成/単位授与

4-1. 履修の順次性

経験度に応じて基礎編・応用編・リーダー編を履修し、その段階ごとに順次性ある到達目標・評価基準のもとレベルアップを目指します。

4-2. カテゴリ

そのプロジェクトの主題により、カテゴリA～Dに分類され、それぞれ基礎編・応用編によって科目構成され、同時開講されます。さらに上級者に向けカテゴリEをリーダー編として履修します。

4-3. 科目構成

	知る、体験する 社会の中での自分やデザイン・アートの位置づけを知る	実践する 新たな可能性を切り拓き実践する
カ テ ゴ リ	基礎編: 初めてプロジェクト演習を履修する学生	応用編: 同じプロジェクト演習を2回目に履修する学生
A: 歴史・地域	プロジェクト演習A1	プロジェクト演習A2
B: デザイン	プロジェクト演習B1	プロジェクト演習B2
C: 文化・芸術	プロジェクト演習C1	プロジェクト演習C2
D: 教育・福祉	プロジェクト演習D1	プロジェクト演習D2

・科目名の英字はカテゴリをあらわし、数字は順次性をあらわします(「2」は「1」の単位取得を履修要件とする)。

・学習時間が一定以上になるプロジェクトは、2つのカテゴリーを同時履修することになります。

	プロジェクト全体を牽引する
カ テ ゴ リ	リーダー編: 同じプロジェクト演習を3回目に履修する学生
E: プロデュース	プロジェクト演習E1

・E1は、A2～D2の単位取得を履修要件とし、評価がA以上だったことが望ましい。

4-4. 単位授与

同一カテゴリでは、1つのプロジェクト演習しか履修登録(単位授与)できません。2つ目以上は聴講扱いとなります。

プロジェクト終了後に「プロジェクトレポート」を提出したうえで、学修成果評価基準を満たした者に、2単位が授与されます。

5. 令和7年度に開講が予定されるプロジェクト

- ・近江里山フィールドワーク(担当: 今森光彦 客員教授監修)
 - ・大津祭曳山連盟公式キャラクター「ちま吉」プロジェクト(担当: 田中真一郎・加藤賢治)
 - ・大津市歴史博物館おもちゃのワークショッププロジェクト(担当: 藤井俊治)
- 上記科目を含めて令和7年度には12科目のプロジェクトが開講予定です。

進路選択別スタンダードカリキュラム

		専門導入過程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1 年		2 年		3 年		4 年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
キャリアデザイン科目	学部受講指定科目	キャリアデザイン 概論 1 キャリアデザイン 概論 2						就職活動	
	就職希望者履修推奨科目			キャリアデザイン 演習 A1	キャリアデザイン 演習 A2	キャリアデザイン 演習 B	キャリアデザイン 演習 C		
	就職希望者選択科目	キャリア実践演習 A (大学コンソーシアム京都のみ)		社会人 基礎力研究 キャリア実践演習 A・B					
	就職以外の進路希望者科目			キャリアデザイン 特論 A	キャリアデザイン 特論 B				

入学してきた動機を見つめ直し、大学時代に何を学び、どう過ごすのかを考えます。自分と向き合い、他者と向き合うことで、自身のキャリアをデザインするとともに、社会人として自立できる基盤を養います。

芸大生の進路選択・就職活動の概要を理解し、クリエイティビティを社会で活かすための知識や技術を学びます。社会人との接点を持ち、社会で求められる力を意識することで、自らの将来を前向きにとらえる力を養います。

社会の一員としてどのように生きていくのか、自分と社会をしっかりと見つめることを実践的に行います。働くことへの前向きなイメージを持ち、仕事理解・自己理解・面接練習などを通して就職内定につながる力を養います。自ら学び、実践することで就職活動をやり遂げる自信を育みます。

キャリアサポートセンターでの個別指導を中心に、サポート講座や直接企業と出会う機会を提供します。内定が出るまで、小規模大学ならではの手厚いフォローでバックアップします。

学芸員課程科目

■学芸員とは

博物館は、「博物館法」に基づき、資料の収集・保管・展示・調査・研究、また教育・普及などこれらに関連する事業についての専門的事項をつかさどる職員として、学芸員をおかなければなりません。博物館には、美術館、科学館、資料館、文学館、民俗館など様々な領域の施設が含まれます。学芸員の有資格者には、それらの施設において、専門職としての職域が開かれています。

また、文化財に関わる仕事や、ギャラリスト、アート・コーディネーターなど美術に関わるさまざまな仕事にも学芸員資格が求められることもあり、資格課程で学んだ専門的な知見が生かせる仕事も少なくありません。美や芸術と関わる豊かな人生のために、知識と技の習得に挑戦してみましょう。

■学芸員資格の取得条件

学芸員となる資格を得るためには「博物館法」第5条第1項第1号および本学が定めた規定に基づき、以下の条件を満たしてください。

- 1) 学芸員課程履修届を提出し、所定の学芸員課程履修費を納めていること。
 - 2) 学士の学位を有すること（所属学部学科を卒業すること）。
 - 3) 学芸員課程で定めた科目の単位を修得していること。
- 以上、3つの条件を満たした者には、卒業時に「学芸員資格証明書」を授与します。

■学芸員の基礎資格・最低修得科目数および単位数

基礎資格	法定基準	本学における最低修得科目および単位数
学士の学位を有する者	必修科目・単位 9科目 19単位	必修科目・単位 11科目 19単位
	選択科目・単位 2系列 4単位	選択科目・単位 2系列 2科目 4単位

■学芸員の基礎資格・最低修得科目数および単位数

科目名		単位数		授業形態	学年	学期	特記事項
		必修	選択				
必修科目	博物館概論	2		講義	学芸員課程1年生	後期	
	生涯学習概論	2		講義	学芸員課程1年生	後期集中	
	博物館資料論	2		講義	学芸員課程2年生	前期	
	博物館展示論	2		講義	学芸員課程2年生	後期	
	博物館情報・メディア論	2		講義	学芸員課程2年生	後期	
	博物館教育論	2		講義	学芸員課程2年生	後期集中	
	博物館資料保存論	2		講義	学芸員課程3年生	前期	
	博物館経営論	2		講義	学芸員課程3年生	後期	
	博物館実習1	1		実習	学芸員課程3年生	前期	
	博物館実習2	1		実習	学芸員課程3年生	後期	
博物館実習3	1		実習	学芸員課程4年生	集中	博物館実習1・2履修済要件	
選択科目	東洋・日本美術史概説A		2	講義	美術史系列		2系列以上より 2科目4単位以上を 選択必修
	東洋・日本美術史概説B		2	講義			
	西洋美術史概説A		2	講義			
	西洋美術史概説B		2	講義			
	デザイン史概説A		2	講義			
	デザイン史概説B		2	講義			
	工芸史 ※		2	講義	文化史系列		
	文化史A ※		2	講義			
	文化史B ※		2	講義			
	考古学A ※		2	講義			
	考古学B ※		2	講義	考古学系列		
	琵琶湖の民俗史		2	講義			
	文化人類学A ※		2	講義	民俗学系列		
	文化人類学B ※		2	講義			

※ この科目は隔年開講となります。

■学芸員課程4年間の予定

1年次	4月	履修計画に基づき、【前期】選択科目を履修登録
	7月	履修ガイダンス(学芸員課程概要・履修方法を説明)に必ず参加
	9月	履修登録ガイダンスに参加履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修届提出、学芸員課程履修費(10,000円)を納付
2年次	(3月)～4月	履修計画に基づき、【前期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修費(10,000円)を納付
	9月	履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録
3年次	(3月)～4月	履修計画に基づき、【前期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修費(10,000円)を納付
	7月頃	現地美術研修・研修費用の個人負担有
	夏期休暇中	館務実習先の開拓・調査・研究
	9月	履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録 館務実習先希望調査票の提出(教学課)
4年次	(3月)～4月	履修ガイダンス(館務実習先の発表、注意事項など) 履修計画に基づき、【前期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修費(10,000円)及び館務実習保険料(340円)を納付
	5月～11月	館務実習実施(各館 1 週間から 2 週間程度)
	6月～12月	館務実習終了後、実習ノート・レポート・データを提出(教務課)
	9月	履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録
	2月	学芸員資格証明書授与判定
	3月	学芸員資格証明書授与(卒業時)

注意

- 1) 日程は予定であり、学年暦・各種行事等により変更される場合があります。
- 2) 学芸員課程履修費は改訂される場合があります。
- 3) 学芸員課程履修費、現地美術研修・研修費用のほかに、近隣の施設見学のための交通費自己負担が生じる場合があります。
- 4) その他、必要な情報は、Seian Active Portal (成安Aポータル) にてお知らせをしますので、定期的に確認をするようにしてください。

教職課程科目

■教職課程の履修のしかた

これからの時代は、社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」であるとともに、先行き不透明な「予測困難な時代」とも言われています。現在、こうした社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手を育てていくために、「令和の日本型学校教育」の実現に向けた教育活動が各学校現場において進められています。しかしながら、地域や教科によっては、教員不足が深刻化しており、その課題解決へ向けた改革も進められているところです。本学では将来教員を志望する熱意ある学生を対象に教職課程を開設しています。

成安造形大学で教職課程を履修するためには、「教職課程履修登録」の諸手続きに加えて次の2点が不可欠です。

1. 教育職員を目指すという目的意識をもつ。
2. 教職課程の学修と制作・研究活動とを両立させる意識をもつ。

1については、教員になるという明確な目的を持って履修する人がいる反面、「友人が誘うから」、「親が勧めるから」、「なんとなく資格が欲しいから」といった理由で履修する人もいます。そのような人も、履修を始めたなら「何が何でも教員免許を取得する」という気持ちが大切です。2については、制作・研究活動との両立は、精神的にも体力的にも相応の覚悟を必要とします。初年度に抱いた履修の目的を忘れてしまい惰性で履修を重ねていると、必修科目の取りこぼしなどが起こって教員免許の取得ができないという結果になることもあります。4年間、教職の学修に真摯に対峙してください。

■本学で取得できる教育職員免許状

1. 本学で取得できる教育職員免許状の種類は次のとおりです。

学部・学科	免許状の種類
芸術学部 芸術学科	中学校教諭一種免許状（美術）
	高等学校教諭一種免許状（美術）

注意：本学では中学校・高等学校免許状の同時取得（両方取得する）を原則とし、カリキュラムを構成しています。設置カリキュラムの都合上どちらか片方のみの取得はできません。

2. 「教育職員免許法」ならびに「同法施行規則」で定められている免許状授与のための要件は以下のとおりです。

(1) 基礎資格 学士の学位を有すること。

(2) 大学において修得することを必要とする最低単位数（法定基準）

「教科及び教科の指導法に関する科目」

中一種免：28単位 高一種免：24単位

「教育の基礎的理解に関する科目」

中一種免：10単位 高一種免：10単位

「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

中一種免：10単位 高一種免：8単位

「教育実践に関する科目」

中一種免：7単位 高一種免：5単位

「大学が独自に設定する科目」

中一種免：4単位 高一種免：12単位

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

8単位

(3) 7日間以上の介護等体験（社会福祉施設5日間、特別支援学校2日間）（中一種免用）

これらの要件は、国が定める最低条件であり、本学では「教職課程開講科目ならびに履修方法」に記載されている授業科目の単位を修得することが必要です。

■教職課程における学外での体験と実習について

教職課程の学修においては、学校を中心とした様々な学外現場での体験や実習が必要となります。現場を深く理解し、教員としてふさわしい資質能力を形成するための重要な内容となりますので、しっかりと取り組んでください。教職課程における体験や実習は、以下の3つに区分されます。

①介護等体験：

3年次において（都道府県ごとに異なる）特別支援学校（2日間）と社会福祉施設（5日間）での介護等体験を行います。介護等体験は法律で免許状取得（中一種免）の条件となっています。

②学校現場体験：

3年次において、学校や児童生徒の状況を知る機会として近隣の小・中学校で2日間の学校現場体験を行います。その後、体験の振り返りを通して、教育実習に向けての心構えの形成へとつなげていきます。

③教育実習：

4年次において、中学校または高等学校で3週間（休・祝日を除く15日間）の教育実習を行います。教育実習を行うにあたって、2年次から母校などの受け入れ先となる教育実習校を探し、内諾を得るという手続きが始まります。

本学では、②を「現場体験活動2」（3年次後期）、③を「教育実習A」（4年次前期）、「教育実習B」（4年次後期）として必修科目のうちに位置づけています。①については、科目としては位置づけていませんが、体験実績がないと免許の取得（中学校一種免許）ができません。体験日程・方法等については別途お知らせいたします。

■教職課程開講科目ならびに履修方法

※以下に記載の科目は開講予定科目です。詳細は、教職課程履修説明会にて配付の履修案内を参照してください。

		免許法施行規則に定める 科目区分	授業科目	授業の 種類	単 位 数	開講年次	備 考
・法定基準 ・本学基準 科目区分ごとに2単位以上、中一種免・28単位以上、高一種免・24単位以上修得 指定した基準を満たし、合計30単位以上修得 教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	絵 画 (映像メディア表現を含む)	○基礎造形実習1 A	実習	2	1 年	○の科目から1科目修得すること
			○絵画演習	演習	2	2～4年	
			イラストレーション基礎演習1	演習	2	1 年	
			美術実習1ーa	実習	2	2 年	
			美術実習1ーb	実習	2	2 年	
		彫 刻	○基礎造形実習2 A	実習	2	1 年	○の科目から1科目修得すること
			○彫刻演習	演習	2	2～4年	
			美術実習1ーc	実習	2	2 年	
		デザイン (映像メディア表現を含む)	○基礎造形実習3 A	実習	2	1 年	○の科目から1科目修得すること
			○デザイン演習	演習	2	1～4年	
			情報デザイン演習3	演習	2	2 年	
			情報デザイン演習7	演習	2	2 年	
		工 芸 (中一種免のみ)	○基礎造形実習4 A	実習	2	1 年	○の科目から1科目修得すること ※高一種免取得単位には含まれません。
			○工芸演習	演習	2	2～4年	
		美術理論及び美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジアの 美術を含む)	◎東洋・日本美術史概説A	講義	2	1～4年	◎の3科目は必ず修得すること ※3年次までに単位を修得すること
			◎西洋美術史概説A	講義	2	1～4年	
			◎美術理論	講義	2	2～4年	
			東洋・日本美術史概説B	講義	2	1～4年	
			西洋美術史概説B	講義	2	1～4年	
			デザイン史概説A	講義	2	1～4年	
			デザイン史概説B	講義	2	1～4年	
			日本美術史A	講義	2	2～4年	
			日本美術史B	講義	2	2～4年	
			西洋美術史A	講義	2	2～4年	
			西洋美術史B	講義	2	2～4年	
			現代美術論A	講義	2	2～4年	
			現代美術論B	講義	2	2～4年	
		各教科の指導法 (情報機器及び教材の 活用を含む)	◎美術科教育法1	講義	2	2 年	◎印は教職課程履修者必修科目です。 原則として定められた年次で修得 してください。
			◎美術科教育法2	講義	2	2 年	
			◎美術科教育法3	講義	2	3 年	
			◎美術科教育法4	講義	2	3 年	

※「教科に関する専門的事項」については、記載の科目区分ごとに指定した○印と◎印の科目を修得した上で22単位以上修得してください。

※ただし、免許法施行規則に定める科目区分「工芸」は、高一種免取得単位には含まれないため、「基礎造形実習4A」・「工芸演習」の両方を修得した場合は、24単位以上の修得が必要となります。

※上記表中の単位はすべて卒業に必要な単位として算入されます。

		免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	授業の種類	単位数	開講年次
教育の基礎的理解に関する科目	・法定基準 中一種免：10単位、 高一種免：10単位 得 ・本学基準 右表の10単位修得	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◎教育原理	講義	2	2年
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む)	◎教職入門	講義	2	1年
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)	◎教育制度論	講義	2	1年
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	◎教育心理学	講義	2	2年
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	◎特別支援教育論	講義	2	2年
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・法定基準 中一種免：10単位、 高一種免：8単位 得 ・本学基準 右表の11単位修得	道徳の理論及び指導法	◎道徳教育論	講義	2	3年
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む) 総合的な学習の時間の指導法	◎教育方法及び総合的な学習の時間の指導法	講義	2	2年
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む) 特別活動の指導法	◎教育課程・特別活動論	講義	2	2年
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	◎教育現場でのICT活用	講義	1	2年
		生徒指導の理論及び方法	◎生徒指導・進路指導論	講義	2	3年
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	◎教育相談	講義	2	3年
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法	◎教育相談	講義	2	3年
教育実践に関する科目	・法定基準 中一種免：7単位、 高一種免：5単位 得 ・本学基準 右表の7単位修得	教育実習	◎教育実習事前事後指導	講義	1	4年
			◎教育実習A	実習	2	4年
			◎教育実習B	実習	2	4年
		教職実践演習	◎教職実践演習(中・高)	演習	2	4年

※◎印は教職課程履修者必修科目です。原則として定められた年次で修得してください。

※本学は、中一種免ならびに高一種免を同時取得する課程ですので、上記表中すべての科目の単位(合計28単位)を修得してください。

※上記表中の単位は卒業に必要な単位には算入されません。(すべて卒業要件外の単位です。)

※「道徳教育論」は中一種免取得時には、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位として算入され、高一種免取得時には「大学が独自に設定する科目」の単位として算入されます。

免許法施行規則に定める科目区分		授業科目	授業の種類	単位数	開講年次	備 考
大学が独自に設定する科目	法定基準 中一種免・4単位以上、 高一種免・12単位以上、 本学基準 右表の4単位と他の科目 区分の法定基準を超えて 修得した単位を併せて 12単位以上	◎人権教育	講義	2	2年	現場体験活動1及び2には 介護等体験実習を含まない
		◎現場体験活動1	演習	1	3年	
		◎現場体験活動2	演習	1	3年	

※◎印は教職課程履修者必修科目です。原則として定められた年次に必ず修得してください。

※上記表中の「現場体験活動1」、「現場体験活動2」は卒業に必要な単位に算入されません。「人権教育」は卒業に必要な単位に算入されます。

※上記表中◎の科目の単位すべてと、法定基準を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の単位を併せて中一種免は4単位以上、高一種免は12単位以上修得してください。

		免許法施行規則に定める 科目区分	授業科目	授業の 種類	単 位 数	開講年次	備 考
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	・法定基準 ・本学基準 科目区分ごとに2単位 合計8単位以上修得	日本国憲法	◎法学[日本国憲法]	講義	2	1～4年	A～Eは2科目以上選択必修 健康体力論は1科目選択で可能
		体 育	スポーツ実習A	実習	1	1～4年	
			スポーツ実習B	実習	1	1～4年	
			スポーツ実習C	実習	1	1～4年	
			スポーツ実習D	実習	1	1～4年	
			スポーツ実習E	実習	1	1～4年	
			健康体力論	講義	2	1～4年	
		外国語コミュニケーション	英語A	実習	1	1～4年	2科目以上選択必修 ※「英語入門」は含まないので注意すること
			英語B	実習	1	1～4年	
			英語C	実習	1	1～4年	
			英語D	実習	1	1～4年	
			英語E	実習	1	1～4年	
			英語F	実習	1	1～4年	
			英語G	実習	1	1～4年	
			英会話A	実習	1	1～4年	
			英会話B	実習	1	1～4年	
			英会話C	実習	1	1～4年	
			英会話D	実習	1	1～4年	
			英会話E	実習	1	1～4年	
			情報機器の操作	ファウンデーション実習B1	実習	1	
		ファウンデーション実習B2		実習	1	1～4年	
		ファウンデーション実習B3		実習	1	1～4年	

※◎印は教職課程履修者必修科目です。◎印以外の科目も選択必修科目です。備考欄の基準にしたがって履修してください。

※上記表中の科目はすべて卒業に必要な単位に算入されます。

■【教職課程】令和7(2025)年度の予定

	1年次	2年次	3年次	4年次
4月	新入生ガイダンス (資格課程紹介) 教職課程履修相談	教職課程継続手続き 履修費用納付期間： 4月上旬～4月下旬 個別履修相談	教職課程継続手続き 履修費用納付期間： 4月上旬～4月下旬 個別履修相談 教育実習希望先連絡及び訪問開始 (7月末までに) 現場体験活動開始	教職課程継続手続き 履修費用納付期間： 4月上旬～4月下旬 個別履修相談 教育実習正式依頼 教員採用試験願書受付開始
5月			介護等体験／随時実施	教育実習開始（通年随時実施） 教員採用試験（各都道府県）
6月				教育実習期間
7月	★教職課程履修説明会			
8月				
9月	前期成績発表 後期履修登録指導 個別履修相談 教職課程登録 履修費用納付	前期成績発表 後期履修登録・個別履修相談	前期成績発表 後期履修登録・個別履修相談 教育実習校調査	前期成績発表 後期履修登録・個別履修相談 教職実践演習開始
10月			学校現場体験開始 教職ミーティング	教職ミーティング
11月			学校現場体験	★教員免許状申請ガイダンス (一括申請手続き説明・授業内)
12月				
1月				教員免許状申請手続き期間 1月下旬
2月		教職課程 継続判定	教職課程 継続判定	教員免許申請該当者決定
3月	新2年生 ★教職課程ガイダンス 3月末 次年度前期履修登録	新3年生 ★教職課程ガイダンス 3月末 次年度前期履修登録 介護等体験申込開始	新4年生 ★教職課程ガイダンス 3月末 次年度前期履修登録	教員免許状授与 (卒業式時)

★印は必ず出席のこと

二級建築士受験資格講座

■二級建築士受験資格講座

二級建築士、木造建築士の受験資格を得るために必要な、本学が指定する科目（下記表※印科目）を履修するために開講する講座です。※印科目を授業するためには二級建築士受験資格講座に登録する必要があります。

■二級建築士とは

都道府県知事の免許を受け、二級建築士の名称を用いて、設計、工事監理等の業務を行う者

■木造建築士とは

都道府県知事の免許を受け、木造建築士の名称を用いて、木造の建築物に関し、設計、工事監理等の業務を行う者

■二級建築士受験資格

本学の指定する以下の科目（国土交通大臣の指定する建築に関する科目）を修めて卒業した者に対して受験資格を取得することが出来ます。ただし取得した単位数によっては登録時に建築実務の経験年数が必要になる場合があります。

資格課程科目(二級建築士受験資格)

指定科目の分類	科目名	授業形態	単位数	配当学年				受験資格取得 必要単位数	特記事項
				1年	2年	3年	4年		
①建築設計製図	空間デザイン演習2-a	演習	2		○			3単位以上	
	空間デザイン演習4-a	演習	2		○				
	空間デザイン演習6-a	演習	2			○			
②～④建築計画、建築環境工学 又は建築設備	西洋建築史	講義	2		○	○	○	2単位以上	
	日本建築史	講義	2		○	○	○		
	住居・住宅論 ※	講義	3		○	○	○		
⑤～⑦構造力学、建築一般構造 又は建築材料	建築構造演習1 ※	演習	2		○	○	○	3単位以上	
	住宅一般構造 ※	講義	2		○	○	○		
	建築構造演習2 ※	演習	2		○	○	○		
⑧建築生産	建築施工 ※	講義	1		○	○	○	1単位以上	
⑨建築法規	住居と法律 ※	講義	1		○	○	○	1単位以上	
⑩その他	空間デザイン基礎演習2	演習	2	○				適宜	
	空間デザイン演習3-a	演習	2		○				
	空間デザイン演習8-a	演習	2			○			
	基礎造形実習2E	実習	2	○					
	空間デザイン実習1-a	実習	2		○				
	空間デザイン実習3-a	実習	2		○				
	空間デザイン実習4-a b	実習	2		○				
	空間デザイン実習5-a	実習	2			○			
	空間デザイン実習7-a	実習	2			○			
	図法演習	演習	2			○	○		
試験時		必要な実務経験年数0年						20単位以上	
登録時		必要な実務経験年数0年						40単位以上	
		必要な実務経験年数1年						30単位以上	
		必要な実務経験年数2年						20単位以上	

※印の科目を履修するには、二級建築士受験資格講座の登録が必要になります。(年間20,000円)

西洋建築史、建築構造演習1、住宅一般構造は2025年度の開講はありません。

実務家教員担当科目について

実務家教員とは専攻分野における実務経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を指します。

■ 本学の実務家教員担当科目

●卒業後の進路を考える実践的な授業を行います。

科目名	授業に関連する実務経験	単位数
キャリアデザイン概論1	企業での教育担当経験を活かし、初年次教育として卒業後を見据え大学時代をどのように過ごすのか、自分の言葉で伝える力を養う授業を行います。	1
キャリアデザイン概論2	企業での教育担当経験を活かし、初年次教育として卒業後を見据え大学時代をどのように過ごすのか、自分の言葉で伝える力を養う授業を行います。	1
キャリアデザイン特論A	企業での採用・教育担当や数多くの採用支援・教育支援の経験を活かし、社会に出るために必要な考え方や能力を実践的に身につける授業を行います。	2
キャリアデザイン特論B	企業での採用・教育担当やマネジメント経験、また様々な企業における研修実施経験を活かし、社会に出て活動していくために重要な考え方や能力を養う、実践的な授業を行います。	2
社会人基礎力研究	企業での教育担当経験から、社会人として必要なスキルを伝え、民間教育機関での講師経験及び企業での人材採用研修に携わった講師を招き、計数能力及び思考力を養う実践的な授業を行います。	1
キャリアデザイン演習A1	企業の教育担当経験を活かし、自分を知り、自己表現に必要なスキルや基礎的な考え方を養う授業を行います。	1
キャリアデザイン演習A2	企業の教育担当経験を活かし、企業課題の本質を見極める力をつけ、社会人として必要な力を養う授業を行います。	1
キャリアデザイン演習B	企業での接客経験で培った対人スキル、コミュニケーション力を活かし、マナー、自己PRの方法を教えます。教育担当経験を活かし、社会人として必要な力をつける授業を行います。	2
キャリアデザイン演習C	企業での接客経験で培った対人スキル、コミュニケーション力、教育担当経験を活かし、外部の就職支援関係者と共にオンラインや対面での面接練習など、就職活動に向けて必要な力をつける授業を行います。	2
		13

○主な担当教員

林 憲子 准教授
寺田 博之 非常勤講師

●大学や領域の特色を学びます。

科目名	授業に関連する実務経験	単位数
総合デザイン概論	それぞれ企業でデザイナーとして実務経験のある教員が、コト・モノ・情報のデザイン分野とその文化的背景やアートの社会的な意味について、実績をもとに広い視野をもって、デザイン思考での課題解決のあり方について考察します。	2
美術概論	実際に作家として社会とのかかわりを持つ美術領域の実務家教員が中心となり、自身の専門分野における制作や研究の事例を紹介することで、美術の基礎的な知識を学びながら、美術という分野の広がりを確認していきます。	2
情報デザイン概論	芸術およびデザインの分野で企画・制作などの実務を行う教員が、その経験と専門知識に基づいて情報デザインに関する歴史的変遷や現在の動向について概説していきます。	2
空間デザイン概論	企業でのデザイナーとしての実務経験を活かしたより実践的な事例をあげて考察する。また、それぞれの視点での最初の講義では、各分野における地域とつながった学びの事例を紹介する。	2
空間デザイン論2D	世界および日本で活躍する建築家を取り上げ、一級建築士としての実務経験をもち、その思想、空間や形態、素材や肌理、色彩、機能や構造などの特色を講義し、これからの建築家と建築のあり方を考えるとともに、文化や社会現象にまでおよぶ考察を行う。	2
イラストレーション論4	実際にイラストレーターとしても活動する教員がイラストレーションの仕事の実際を説明。また、クリエイションまわりの仕事をしている人の話を現場から聞き、自分とクリエイション活動や仕事について考えます。	2
美術論3	実際にアーティストとして実務経験を有する教員が、現代美術の実践的な側面や課題を具体的に説明します。	2
コミュニティデザイン概論	コミュニティデザイナーとして地域とかかわってきた実績をもとに、コミュニティの実例を紹介し、コミュニティデザインについて考察します。	2
		16

○主な担当教員

長尾 浩幸 教授 真下 武久 准教授
MON 教授 三宅 正浩 教授
馬場 晋作 教授 田口 真太郎 講師

※主な担当教員の経歴は本学HPで確認できます。<https://www.seian.ac.jp/dept/teacher/>